I-O DATA

ネットワークメディアプレーヤー

AVeL Link Player

AVLP2／G

取扱説明書

本製品をお使いになるときは、添付の「*セットアップガイド*」をまずお読みください。本書および「*セットアップガイド*」はなくさないように大切に保管してください。

M-MANU200088-01

もくじ

はじめに

本製品でできること……2
必ずお守りください……3
使用上のご注意……7
内容物を確かめる……10
動作環境を確かめる……12
各部のなまえ……13
・本体……13
・リモコンボタン……14

準備する

①～⑥まで順に読むと、作業がスムーズに進みます。

① 使用環境を確認する……18
② リモコンを準備する……19
③ つなぐ……20
④ AVeL Link Serverをインストールする……23
⑤ パソコンのIPアドレスを確認する……26
・Windows XP/2000の場合……27
・Windows Me/98 SEの場合……29
・Mac OS Xの場合……30
⑥ 本製品の初期設定をする……31

再生する

パソコン内のファイルを再生する……40
USB機器から再生する……43

困った時には

……45

その他

AVeL Link Serverのリファレンス……58
・Windowsの場合……58
・Mac OS Xの場合……64
本製品画面のリファレンス……65
他の機器をつなぐ……69
・ディスプレイとつなぐ……69
・AVアンプとつなぐ……69
弊社製LAN接続HDDを使用する場合……70
本製品未対応の映像データを見る場合……72
弊社製mAgicTVを使用する場合……74
ファームウェアの更新をする……75
CD-ROMの内容（Windowsのみ）……76
AVeL Link Serverを削除する……77
仕様……78
アフターサービス……79

はじめに

まずは、こちらをご覧ください。

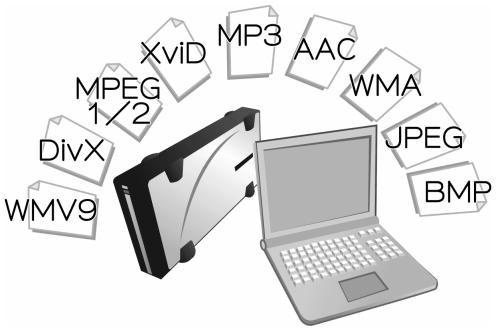
本製品でできること	2ページ
必ずお守りください	3ページ
使用上のご注意	7ページ
内容物を確かめる	10ページ
動作環境を確かめる	12ページ
各部のなまえ	13ページ

本製品でできること

本製品は、ネットワーク上のパソコンにあるムービーをテレビで再生できます。

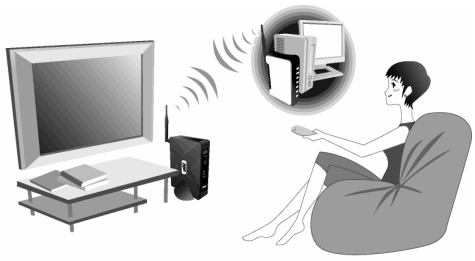
ネットワーク上の動画、音楽、画像を再生できる！

ネットワーク上のパソコンや弊社製LAN接続HDD内のムービーを再生することができます。



離れた場所にあるパソコンとも通信できる！

IEEE802.11g/b無線LANを標準搭載しました。



USB機器から再生できる！

USB対応ハードディスクやメモリーカードリーダーなどのUSB機器内の映像、音楽、画像を再生できます。



必ずお守りください

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。弊社の本製品以外の製品全般についての内容も記載しています。

▮ 警告および注意表示

⚠ **警告**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

▮ 絵記号の意味

△	この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。 記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。 例  「発火注意」を表す絵表示
⊘	この記号は禁止の行為を告げるものです。 記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。 例  「分解禁止」を表す絵表示
●	この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。 記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。 例  「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 警告


電源プラグを抜く

異常な熱さ、煙、異常音、異臭が発生したらすぐに使用を中止する
万一異常が発生した場合は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、感電したり、火災の原因になります。


禁止

通気孔をふさがない
通気孔は内部の温度上昇を防ぐものです。物を置いたり立てかけたりして通気孔をふさがないでください。内部の温度が上昇し、火災や故障の原因になります。


感電注意

ケースカバーを取り外さない
内部には高電圧部分が数多くあり、触ると危険です。


禁止

本製品の上に乗らない
倒れたり、こわれたりしてけが、故障の原因になります。
※特に、小さなお子様にはご注意ください。


電源プラグを抜く

電源の切断はプラグを抜く
電源ボタンで電源を切った場合、完全には電源が切断されておりません。長期間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。落雷などで本製品の破壊・故障の原因になります。


厳守

電源プラグの抜き差し
- 電源ケーブルの抜き差しは必ずプラグ部分を持って行ってください。電源ケーブルを引っ張ると一部が断線し、火災の原因になります。
- 電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、乾いた手で行ってください。濡れた手で行うと感電の原因になります。
- 電源プラグが抜けやすくなるため、コンセントの周りには物を置かないようにしてください。


分解禁止

修理・改造・分解はしない
火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。
修理は弊社修理係にご依頼ください。分解・改造した場合は保証期間であっても有料修理となる場合があります。


禁止

装置内部へ異物をいれない
内部に金属類や燃えやすい物などを入れないでください。火災や感電の原因になります。


厳守

電源プラグはしっかり接続する
電源プラグはほこりが付着していないことを確認し、根元までしっかり差し込んでください。不完全な場合は、接触不良で火災の原因になります。


水ぬれ禁止

水でぬらさない
雨天、降雨中、海岸、水辺などの屋外や、窓辺での使用は特にご注意ください。


禁止

ケーブル/コードの扱いに注意する
ケーブル/コードは付属のものを使用し、次のことに注意して取り扱ってください。取り扱いを誤ると、ケーブル/コードが傷み、火災や感電の原因になります。
- ものをのせない
- 引っ張らない
- 折り曲げない
- 押しつけない
- 加工しない
- 熱器具のそばで使わない


禁止

落下などによる衝撃
落下させたり、ぶつけるなどの衝撃を与えないでください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。


禁止

本製品の上に物を置かない
本製品が破損し、火災・感電の原因になります。
特に、花びん、植木鉢、液体の入った容器が倒れた場合、火災、感電の原因となります。
もし内部に物が入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。


禁止

本製品は下記のような場所で使用しない

故障の原因になります。

- 水分や湿気の多いところ
- 振動や衝撃の加わるところ
- 温度差の激しいところ
- 直射日光の当たるところ
- 閉めきった自動車など、高温になるところ
- ほこりの多いところ
- 通気孔がふさがるところ
- 不安定なところ
- 熱器具の近く
- 風通しの悪いところや狭いところ


厳守

温度差のある場所への移動

移動する場所間で温度差が大きい場合は、表面や内部に結露することがあります。結露した状態で使用すると、火災や感電の原因になります。使用する場所で電源を入れずにそのまま数時間放置してからお使いください。


厳守

心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離して使用してください

電波によりペースメーカーの動作に影響を与える恐れがあります。


禁止

本製品を病院内で使用しないでください

医療機器の誤動作の原因になることがあります。


禁止

落としたり破損した場合は使わない

火災や感電の原因になります。


禁止

電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない

電池の液が目に入ったり体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因になります。

液が目に入ったとき ⇒ 目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、ただちに医師の診察を受けてください。

液が体や衣服についたとき ⇒ すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。


厳守

電池の廃棄にあたっては、地方自治体の条例または規則に従ってください


禁止

電池を充電しない

液が漏れて、けがややけどの原因になります。


禁止

電池で以下のことにご注意ください

液が漏れて、けがややけどの原因になります。

- ●火の中に入れたり、加熱・分解・改造したり、水で濡らしたりしない
- ●（＋）（－）を逆に使用しない
- ●（＋）（－）を金属類で短絡させたり、はんだ等を使用しない
- ●定格条件以外での使用をしない
- ●新しい電池と使用済み電池の混用、乾電池の異種混用はしない
- ●くぎを刺したり、分解・改造をしない
- ●ネックレスやヘヤピン等の金属と一緒に持ち運ばない
- ●60℃以上の場所、車中での放置しない
- ●電子レンジ・オーブンに入れない


厳守

電池は乳幼児の手の届かない場所に置いてください

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因になります。

万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。


禁止

日本国外で使用できません

厳守

電源ケーブルについては以下にご注意ください

●必ず添付または指定の電源ケーブルを使用してください。
●電源ケーブルを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。
●電源ケーブルをACコンセントから抜く場合は、必ずプラグ部分を持って抜いてください。
ケーブルを引っ張ると、断線または短絡して、火災および感電の原因となることがあります。
●電源ケーブルの電源プラグは、濡れた手でACコンセントに接続したり、抜いたりしないでください。
感電の原因となります。
●電源ケーブルがACコンセントに接続されているときには濡れた手で本製品に触らないでください。
感電の原因となります。
●本製品を長時間使わない場合は、電源ケーブルを電源から抜いてください。
電源ケーブルを長時間接続していると、電力消費・発熱します。

⚠ 注意



電源プラグを抜く

金属などの端面への接触

本体の移動などで金属やプラスチック部分に万一異常が発生した場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、感電したり、火災の原因になります。また、すぐに電源プラグが抜けるように、コンセントの周りには物を置かないでください。

厳守

決められた設置をしてください

本製品を横倒し、逆さまなどに設置しないでください。

禁止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた場所などに置くと、落ちたり倒れたりして故障やけがの原因になります。

厳守

電池を使い切ったときや、長時間使用しないときは取り出してください

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因になります。
万一、液漏れしたときは、乾いた布などで電池ケースの周りをよく拭いてから、新しい電池をいれてください。

禁止

接続したままで移動しない

電源コードが傷つき、火災や感電の原因になります。
電源コードやアンテナ線、接続コードを外したこと確認してから移動してください。

厳守

ケーブルについて

● ケーブルは足などに引っ掛けないように、配線してください。
足を引っ掛けると、けがや接続機器の故障の原因になります。
● ケーブルの上に重量物を載せないでください。また、熱器具のそばに配線しないでください。
ケーブル被覆が破れ、接触不良などの原因になります。

厳守

本製品でデータ通信中に電源を切らないでください

故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。

使用上のご注意

対応フォーマット

● **対応する映像**　（※数値はピークの値です。ビットレートはCBR,VBRの両方に対応しています。）

フォーマット	有線LAN	無線LAN (802.11g)	無線LAN (802.11b)	USB 2.0	USB 1.1
MPEG-1,MPEG-2	12Mbps	10Mbps	3Mbps	10Mbps	3Mbps
DivX,XviD	1.5Mbps	1.5Mbps	1.5Mbps	1.5Mbps	1.5Mbps
WMV9	8Mbps	8Mbps	3Mbps	8Mbps	3Mbps

※ 本製品でのAVIファイルの再生は仕様上、AVI1.0形式のインターリーブ設定ファイルのみ対応しています。
インターリーブ設定が行なわれていないファイルを再生した場合､映像と音声のどちらかしか正常に再生できない状態になります。インターリーブ設定されているファイルを再生してください。
なお、ファイル作成時のインターリーブ設定については、お客様がご利用されている各エンコードアプリケーションのヘルプや説明書をご参照いただけますようお願いいたします。

※ GMC,Quater Pixel,Adaptive Multiple Consecutive設定を利用してエンコードしたDivXファイルは再生できません。

※ 著作権保護されたWMV9ファイルは再生できません。

● **対応する音声**　（※数値はピークの値です。ビットレートはCBR,VBRの両方に対応しています。）

フォーマット	ビットレート	サンプリングレート
MP3, AAC	64k～192kbps	32k/44.1k/48kHz
WMA(WMA9Pro 除く)	64k～192kbps	44.1k/48kHz
PCM(WAVE)	右記サンプリングレートに準ずる	32k/44.1k/48kHz
Ogg Vorbis	64k～192kbps	ー

※ 著作権保護されたWMA9ファイルは再生できません。

● **対応する画像**

フォーマット	解像度	表示対応
JPEG	2048×1532	ネットワーク
	1600×1200	USB、弊社製 LAN 接続 HDD
BMP, GIF, PNG	2048×1532	ネットワーク

※ ネットワークとは、有線、無線LAN接続を指し、弊社製LAN接続HDDは除きます。

● **映像ファイルサイズ制限**

フォーマット	制限容量
AVI(DivX、XviD)	2GB
MPEG, WMV9	保存されているディスクのフォーマット仕様に依存します。 （例： FAT32 の場合は 4GB まで）

● **対応する拡張子**

ネットワーク経由で表示可能な拡張子

ビデオ	DAT, MPG, MPEG, M2V, AVI, MOV, MP4, M2P, HNL, WMV
フォト	JPG, BMP, PNG
ミュージック	MP3, MP2, OGG, WAV, AAC, WMA, M4A, ASF

前面USBポートで表示可能な拡張子

ビデオ	DAT, MPG, MPEG, M2V, AVI, MOV, MP4, M2P, HNL, WMV
フォト	JPG
ミュージック	MP3, MP2, OGG, WAV, AAC, WMA, M4A, ASF

お手入れについて

・キャビネットや操作パネル部分の汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。
・汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞って汚れをふき取り、乾いた布で仕上げてください。
また、ベンジンやシンナーなどの溶剤は使わないでください。変質したり塗装がはげることがあります。
・化学ぞうきんを使用する際は、その注意書きにしたがってください。

無線LAN機能を使用する際のご注意

■ 本製品の無線LAN 設定をする前に、アクセスポイントまたは無線アクセスポイント付ブロードバンドルーターの設定を行ってください。
■ 本製品は、2.4GHz帯域の電波を使用しています。
本製品を使用する上で、無線局の免許は必要ありませんが、以下の注意をご確認ください。
・以下の近くでは使用しないでください。
電波の干渉を発生する恐れがあります。
そのため、通信ができなくなったり、速度が遅くなったりする場合があります。
- ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器等
- 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）
- 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

・携帯電話、PHS、テレビ、ラジオを、本製品の近くではできるだけ使用しないでください。
携帯電話、PHS、テレビ、ラジオ等は、無線LANとは異なる電波の周波数帯を使用しています。
そのため、本製品の近くでこれらの機器を使用しても、本製品の通信およびこれらの機器の通信に影響はありません。ただし、これらの機器を無線LAN製品に近づけた場合は、本製品を含む無線LAN製品が発する電磁波の影響によって、音声や映像にノイズが発生する場合があります。
・間に鉄筋や金属およびコンクリートがあると通信できません。
本製品で使用している電波は、通常の家屋で使用されている木材やガラスなどは通過しますので、部屋の壁に木材やガラスがあっても通信できます。
ただし、鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されている場合、電波は通過しません。
部屋の壁にそれらが使用されている場合、通信することはできません。
同様にフロア間でも、間に鉄筋や金属およびコンクリート等が使用されていると通信できません。

2.4GHz帯使用の無線機器について

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器等のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
・この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運営されていないことを確認してください。
・万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数帯を変更するか、または電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
・その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きた場合は、次の連絡先へお問い合わせください。
連絡先：サポートセンター電話番号　金沢：076-260-3646
東京：03-3254-1036

無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

お客様の権利(プライバシー保護)に関する重要な事項です！

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁等)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

・通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
IDやパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報
メールの内容
等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

・不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）
などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。
無線LAN機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が施されていない場合があります。従って、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線LANカードや無線LANアクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線LAN機器のセキュリティに関する全ての設定をマニュアルにしたがって行ってください。
なお、無線LANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。
セキュリティの設定などについて、お客様ご自分で対処できない場合には、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。
当社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

※ セキュリティ対策を施さず、あるいは、無線LANの仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、株式会社アイ・オー・データ機器は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

ファームウェアの更新について

弊社では随時、ファームウェアのバージョンアップを行っております。
ファームウェアの更新により機能の改善や向上が得られる場合もございますので、最新バージョンのファームウェアのご使用をおすすめします。

※【ファームウェアの更新をする】(75ページ)をご参照ください。
なお、本製品が接続されたネットワーク環境がインターネットに接続できることが必要です。

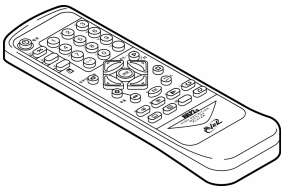
内容物を確かめる

内容物がそろっていることを、☐ にチェックをつけながらご確認ください。
万一、不足品がありましたら、弊社サポートセンターまでお知らせください。

☐ **本製品（1台）**



☐ **リモコン（1個）**

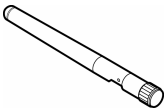


☐ **リモコン用乾電池（2個:単4形）**

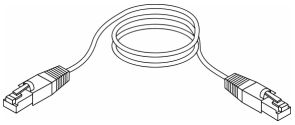
※[動作確認用]
できるだけ早く新しい電池とお取替えください



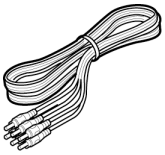
☐ **無線LANアンテナ（1本）**



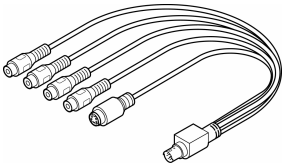
☐ **LANストレートケーブル（1本）** 1m



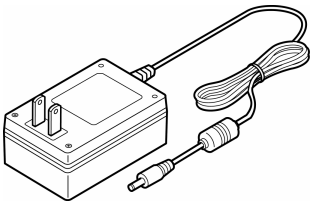
☐ **AVケーブル（1本）** 1m



☐ **映像/音声ケーブル（1本）** 20cm



☐ **ACアダプター（1個）**



☐ **サポートソフトCD-ROM（1枚）**

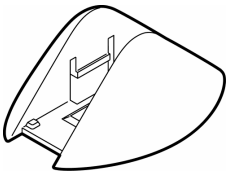
☐ **セットアップガイド（1枚）**

☑ **AVLP2/G取扱説明書（1冊:本書）**

☐ **保証書（1枚）**

☐ **「無線LANについて」シール（1枚）**

☐ **スタンド**



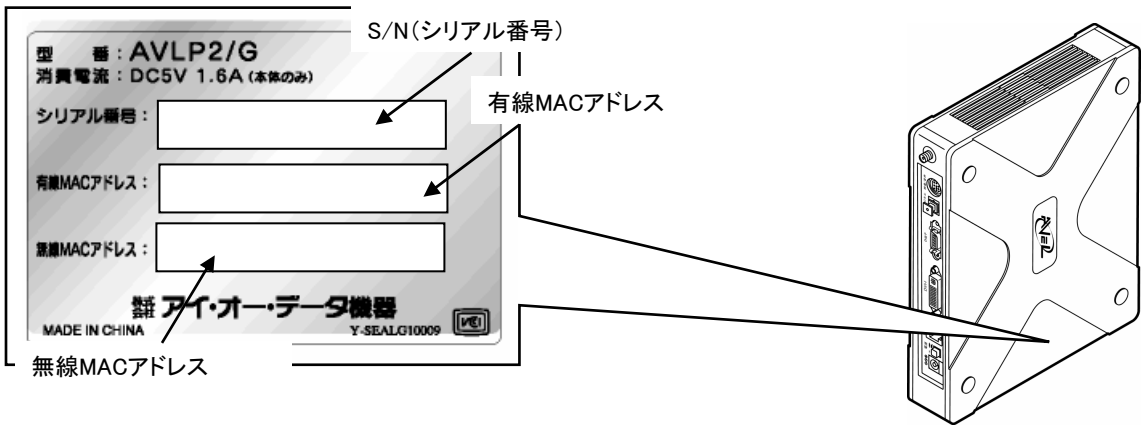
ユーザー登録やサポートソフトのダウンロードについて

ユーザー登録をする際や、弊社ホームページよりサポートソフトをダウンロードする際に S/N(シリアル番号)が必要な場合があります。S/N は本製品に貼られているシールに印字されている 12 桁の英数字です。(例: ABC1234567ZX)

▼S/N(シリアル番号)をメモしてください。

●ユーザー登録　⇒ http://www.iodata.jp/regist/

●サポートソフトのダウンロード　⇒ http://www.iodata.jp/lib/



VCCIについて

●本製品は情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づく製品です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

動作環境を確かめる

お使いの機種や環境を再度ご確認ください。

本製品と通信できるパソコンの種類

対応機種	対応OS
DOS/Vマシン	Windows XP, Windows 2000, Windows Me, Windows 98 Second Edition
Macintoshシリーズ	Mac OS X 10.3

本機と通信できる弊社製LAN接続HDD

LANDISK	HDL-120U, HDL-160U, HDL-250U, HDL-300U, HDL-160UR, HDL-250UR, HDL-300UR
USL-5Pシリーズ	USL-5P, USL-5P/160

※ LANDISKは、ファームウェアがVer.1.50以降になっている必要があります。

その他の必要な機器

LAN	**有線LAN**	・LANアダプター ※ インストールや設定などを完了しておいてください。
	無線LAN	・IEEE 802.11g、IEEE 802.11b準拠の無線LANアクセスポイント ※ インストールや設定などを完了しておいてください。 または ・IEEE 802.11g、IEEE 802.11b準拠の無線LANアダプター ※ インストールや設定などを完了しておいてください。
CD-ROMドライブ		サポートソフトのインストールに必要

本製品で再生できる映像、音声、画像の種類

映像	MPEG-1, MPEG-2, DivX® (3.11/4.x/5.0.x/5.1.x/5.2.x), XviD, WMV9
音声	MP3, WMA(WMA9Pro除く), PCM(WAVE), Ogg Vorbis, AAC
画像	JPEG, BMP, GIF, PNG

USBポートにつながる機器

FAT16、FAT32フォーマットされたUSBマスストレージ

（お使いのUSB機器がUSBマスストレージかどうかは、各メーカーに確認してください。）

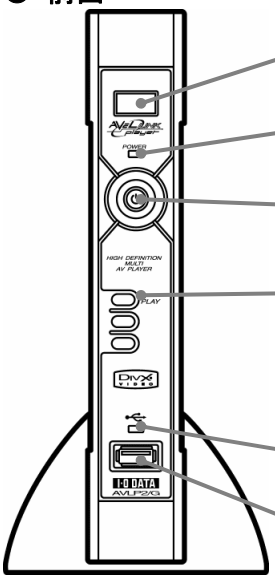
※ 推奨機器などの最新情報は弊社ホームページをご覧ください。（http://www.iodata.jp/）

各部のなまえ

製品の各部のなまえと機能を説明します。

本体

● 前面



受光部
リモコンの操作を受け付けます。

電源ランプ
電源が入ると、青色に点灯します。(スタンバイ時は赤色になります。)

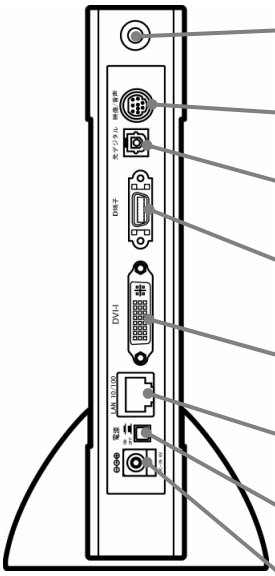
スタンバイボタン
本製品を待機状態にします。

再生ランプ(PLAY)
データの再生中に点灯します。

USBランプ
USBストレージを接続すると点灯します。

USBポート
USBストレージを接続します。

● 背面



無線アンテナ端子
添付の無線LANアンテナを接続します。

映像/音声出力端子
添付の映像/音声ケーブルとAVケーブルを使って、テレビなどと接続します。

光デジタル音声出力端子
別売りの光デジタルケーブルを使って、AVアンプなどと接続します。

D端子
別売のD端子ケーブルを使って、テレビなどと接続します。

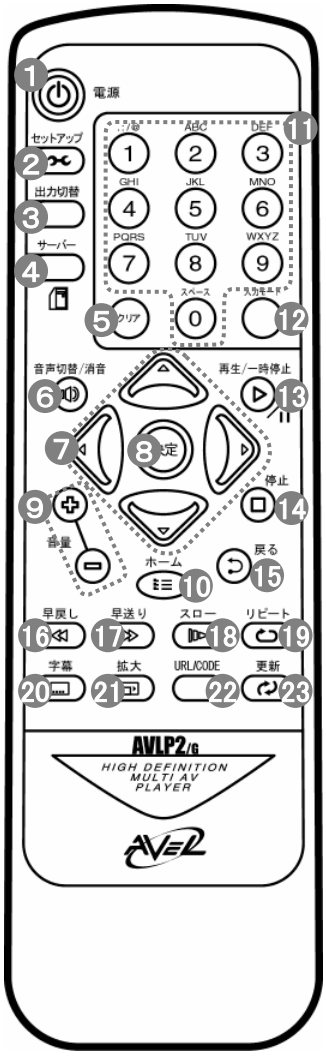
DVI-I端子
別売のDVIケーブルを使って、液晶ディスプレイなどと接続します。

LANポート
LANケーブルを使って、パソコンなどと接続します。

主電源スイッチ
本製品の電源を入れます。

ACアダプター接続端子
添付のACアダプターを接続します。

リモコンボタン



番号	ボタン名	説明
1	**電源**	本製品の電源を入/切します。このボタンによる電源切状態はスタンバイ（待機）モードです。長時間使用しない場合は、本体の主電源スイッチで電源を切ってください。
2	**セットアップ**	設定画面を起動します。設定画面については66ページをご覧ください。
3	**出力切替**	一時的に、コンポジット端子/S端子、D端子、DVI端子へ出力を切り換えることができます。 出力切換ボタンによる切換は次回電源を入れたときには、反映されません。セットアップ画面でのビデオ出力の設定が優先されます。
4	**サーバー**	サーバー選択画面を表示します。
5	**クリア**	文字入力時、カーソル手前の文字を１文字消去します。
6	**音声切替/消音**	AVIファイル再生時に、音声がいくつかある場合には音声の切換を行います。 その他のファイルの場合は、モノラル右→モノラル左→ステレオの順に切り替わります。
7	△/▽/◁/▷	カーソルを移動します。カーソルは青い枠、又は網掛け状態で表示されます。 △/▽：リストの連続再生中は、次（前）のファイルの再生を行います。 ◁/▷：再生中に押すと、再生位置を直接指定できます。
8	**決定**	カーソルの位置の内容で決定をするときに押します。
9	**音量**	再生している音を増減します。通常は、初期値の4で使用してください。

番号	ボタン名	説明
10	**ホーム**	ホーム画面に戻ります。
11	**英数字**	設定時に文字を入力します。 入力モードボタンを押すと、大文字入力 → 数字入力 → 小文字入力に切り替わります。 ● 大文字入力/小文字入力 携帯電話の入力のように、すばやく複数回押すことにより、いくつかの文字を切り替えて入力します。入力できる文字はページ下の文字入力表をご覧ください。 ● 数字入力 リモコンに表示されている数字が入力されます。
12	**入力モード**	文字入力の設定を、大文字入力 → 数字入力 → 小文字入力に切り替えます。
13	**再生/一時停止**	再生/一時停止を切り替えます。早戻しや早送り、スロー再生中は元の速度に戻します。 また、再生データ選択中に押すと、表示ファイル全てを連続再生します。
14	**停止**	再生を停止します。
15	**戻る**	一つ前の画面に戻ります。
16	**早戻し**	逆再生スピードが x1, x2, x3, x4となります。画面には「FR」と表示されます。 ファイルリスト閲覧中は前のページに移動します。
17	**早送り**	再生スピードが x1, x2, x3, x4と変化します。画面には「FF」と表示されます。 ファイルリスト閲覧中は次のページに移動します。
18	**スロー**	x1/2, x1/4, x1/8とスロー再生されます。画面には「SLOW」と表示されます。 ※ 動画ファイルのフォーマットによっては、対応できない場合があります。
19	**リピート**	押すと「REPEAT ONE（再生中のファイルのリピート）」→「REPEAT ALL（再生中のファイルリストのリピート）」と表示され、対象を繰り返し再生します。 さらに押すと「CLEAR」と表示され、解除されます。
20	**字幕**	DivX AVIファイルに字幕がある場合、字幕を切り替えます。
21	**拡大**	画面の表示方法を切り替えます。以下の３種類指定できます。 ●画面に合わせる（FIT TO SCREEN） モニタサイズに合わせて表示しますが、アスペクト比は保持して表示されるため、ゆがみがなく表示できますが、モニタによっては黒い帯の表示が出る可能性があります。 ●フルスクリーン（FULL SCREEN） モニタサイズに合わせて表示しますが、アスペクト比を保たずに表示しますので画面いっぱいに表示できますが、ファイルによってはゆがんでみえます。 ●実サイズ（ACTUAL SIZE） ファイルのサイズをそのまま表示します。サイズが大きすぎる場合は、画面に合わせます。
22	URL/CODE	使いません。
23	**更新**	フォルダ内のファイル表示を更新します。

文字入力表

ボタン	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目
1※	1	.	:	/	@	(	)
2	A/a	B/b	C/c	2	１回目戻		
3	D/d	E/e	F/f	3	１回目戻		
4	G/g	H/h	I/i	4	１回目戻		
5	J/j	K/k	L/l	5	１回目戻		
6	M/m	N/n	O/o	6	１回目戻		
7	P/p	Q/q	R/e	S/s	7	１回目戻	
8	T/t	U/u	V/v	8	１回目戻		
9	W/w	X/x	Y/y	Z/z	9	１回目戻	
0	0	SPACE	１回目戻				

※ 8回目以降は「,」,「!」,「?」…と続きます。

MEMO

準備する

本製品を使えるように、準備・設定します。

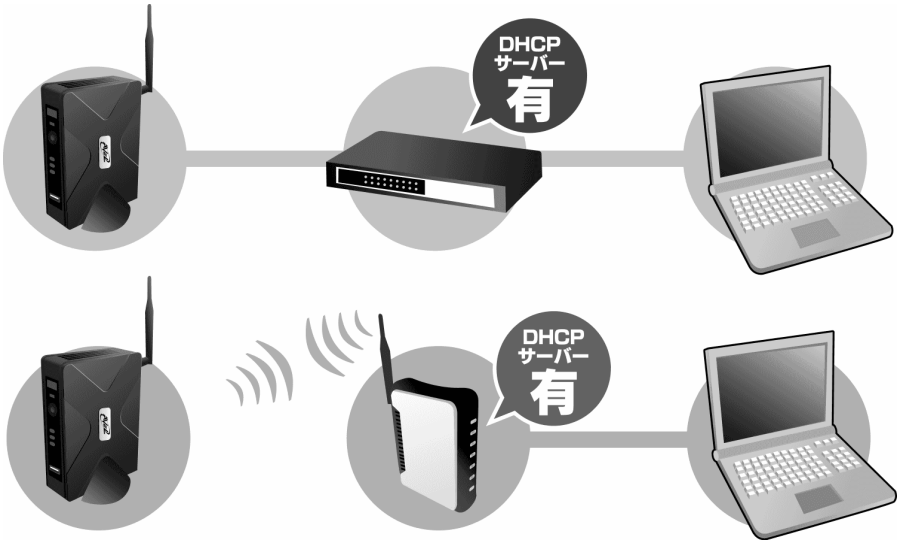
① 使用環境を確認する	18ページ
② リモコンを準備する	19ページ
③ つなぐ	20ページ
④ AVeL Link Serverをインストールする	23ページ
⑤ パソコンのIPアドレスを確認する	26ページ
⑥ 本製品の初期設定をする	31ページ

① 使用環境を確認する

お使いの環境により、設定が異なります。下記からお使いの環境をお選びください。

パソコン内の映像、音声、画像を見る場合（DHCP サーバーあり）

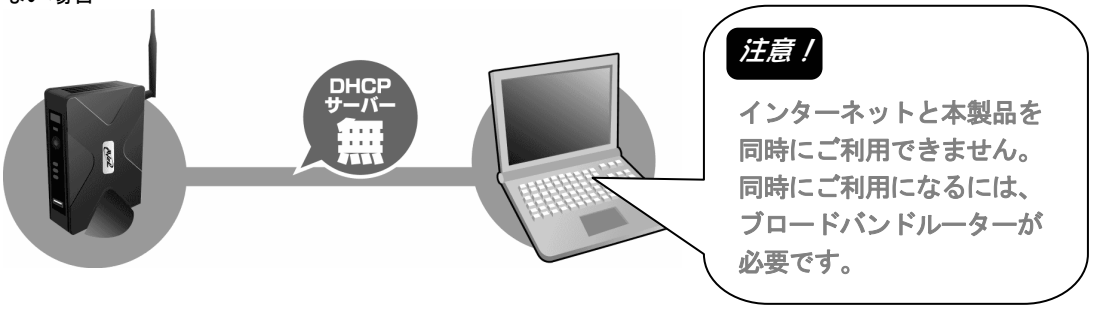
本製品をつなぐネットワーク内にIPアドレスを自動で割り振るDHCPサーバー（ブロードバンドルーターなど）がある場合



⇒別紙のセットアップガイドをご覧ください。

パソコン内の映像、音声、画像を見る場合（DHCP サーバーなし）

本製品をつなぐネットワーク内にIPアドレスを自動で割り振るDHCPサーバー（ブロードバンドルーターなど）がない場合

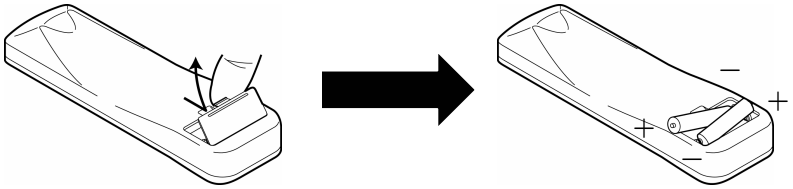


⇒【②リモコンを準備する】（次ページ）へお進みください。

② リモコンを準備する

リモコンに電池を入れます。

1 電池カバーを開けて、以下のように電池を入れます。



注意！

・必ず、－極側から入れ、＋極、－極の向きを正しく入れてください。
付属の電池は動作確認用です。なるべくお早めに市販の単4形乾電池と交換してください。

・電池カバーを開けるには多少力が必要です。親指の先などで開けてください。

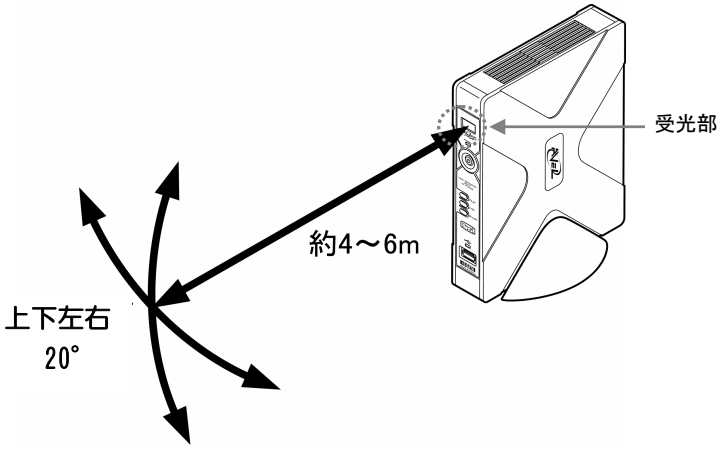
2 電池カバーを元に戻します。

注意！

・親指で力を入れながら、電池カバーを戻してください。

ヒント

リモコン操作は、リモコン受光部から約4～6m、
上下左右に約20度までで行ってください。



【③ つなぐ】（20ページ）へお進みください。

③ つなぐ

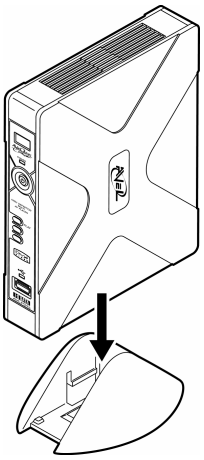
本製品をテレビやパソコンとつなぎます。

ACアダプターをつなぐ

本製品とACアダプターをつなぎます。

スタンドを取り付ける

縦置きする場合は、スタンドを取り付けます。



ヒント

・横置きする場合
ゴム足が付いている方を下にして置いてください。

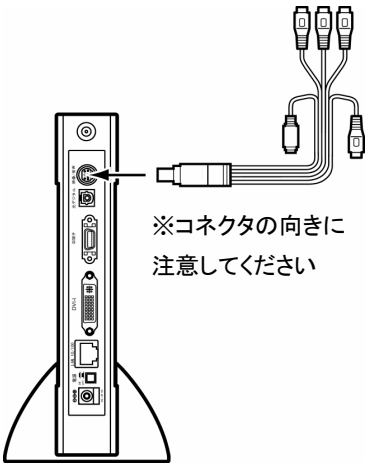
注意！

・横置きする場合、本製品の上に物をおかないでください。

映像/音声ケーブルをつなぐ

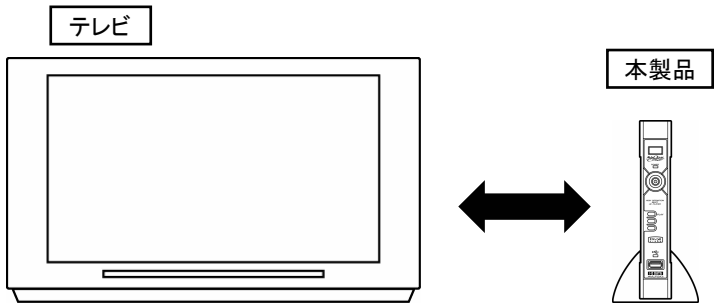
本製品をテレビとつなぐために、まずは映像/音声ケーブルをつなぎます。

● **映像/音声ケーブルを本製品の映像/音声出力端子につなぎます。**

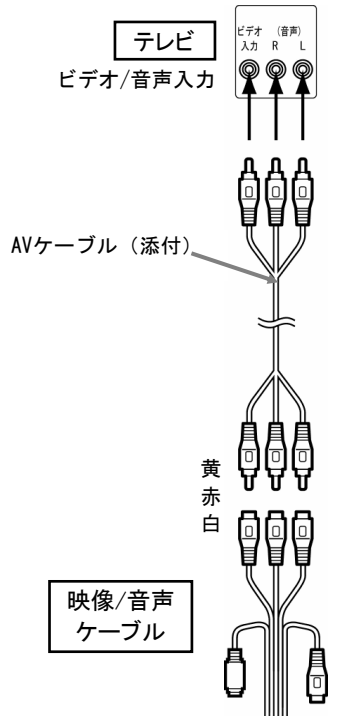


※コネクタの向きに注意してください

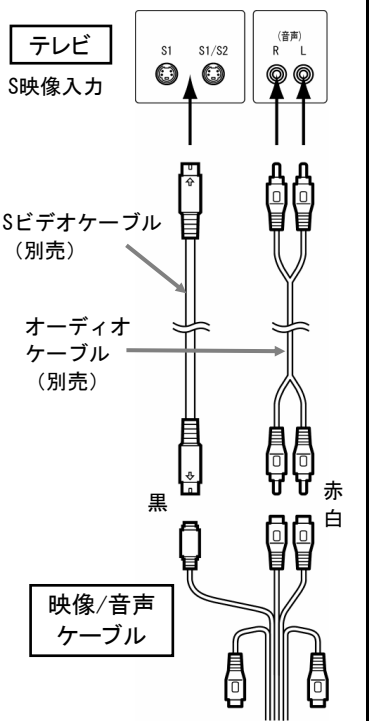
テレビとつなぐ



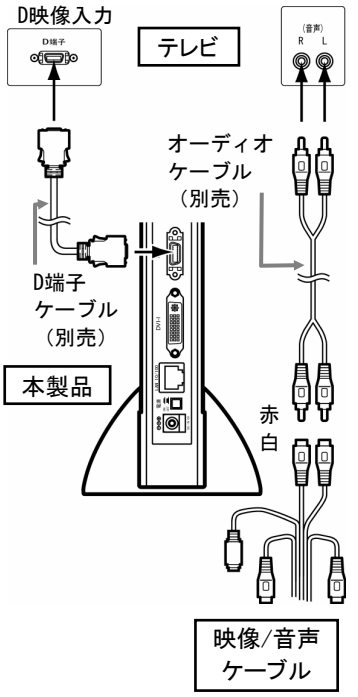
基本的な接続



良い画質で…



さらに良い画質で…



ヒント

・パソコンのディスプレイやAVアンプとも接続することができます。
　詳しくは【他の機器をつなぐ】(69ページ)をご覧ください。
・USB機器を接続する場合は、【USB機器から再生する】(43ページ)をご覧ください。
・リモコンの操作範囲を考えて設置してください。リモコンの操作範囲については、19ページをご覧ください。

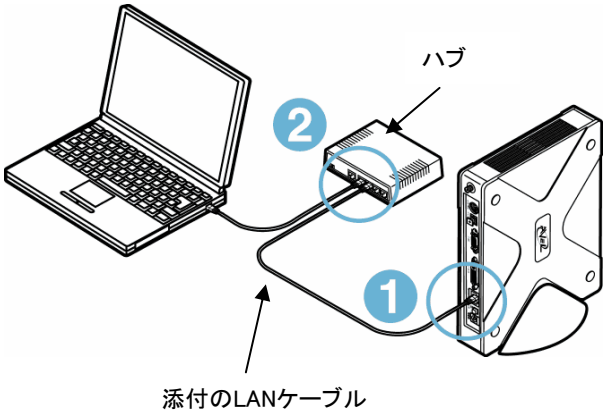
次ページへお進みください。

有線LAN接続する場合（DHCPサーバー無）

パソコンと本製品をLANケーブルで接続します。

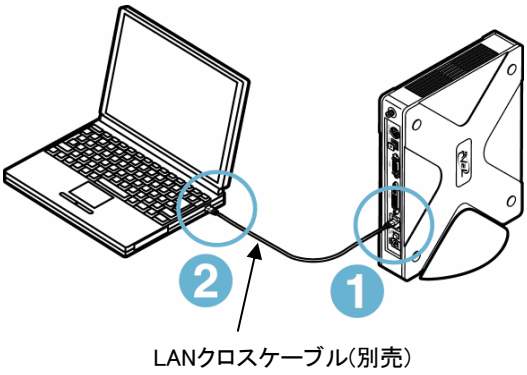
● **ハブに接続する場合**

ハブをお使いの場合は、添付の
LANケーブルでハブと本製品を接続します。



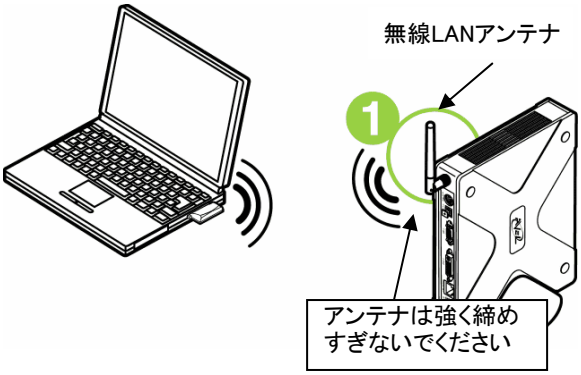
● **パソコンと直接接続する場合**

直接パソコンと接続する場合は、LANクロス
ケーブルで接続します。
（別途ご用意ください。）



無線LAN接続する場合（DHCPサーバー無）

本製品に添付の無線LANアンテナを取り付けま
す。



④ AVeL Link Serverをインストールする

パソコンにAVeL Link Serverをインストールします。

AVeL Link Serverはパソコン内のコンテンツ（映画、写真、音楽）を本製品に送信する機能を持っています。

Windowsの場合

Mac OS Xの場合は、25ページへお進みください。

1 パソコンの電源を入れて、Windowsを起動します。

Windows XP/2000の場合は、コンピュータの管理者権限（Administrators）でログオンしてください。

2 サポートソフトCD-ROMをCD-ROMドライブに入れます。

⇒ メニューが自動的に表示されます。

注意！

・メニューが自動的に起動しない場合

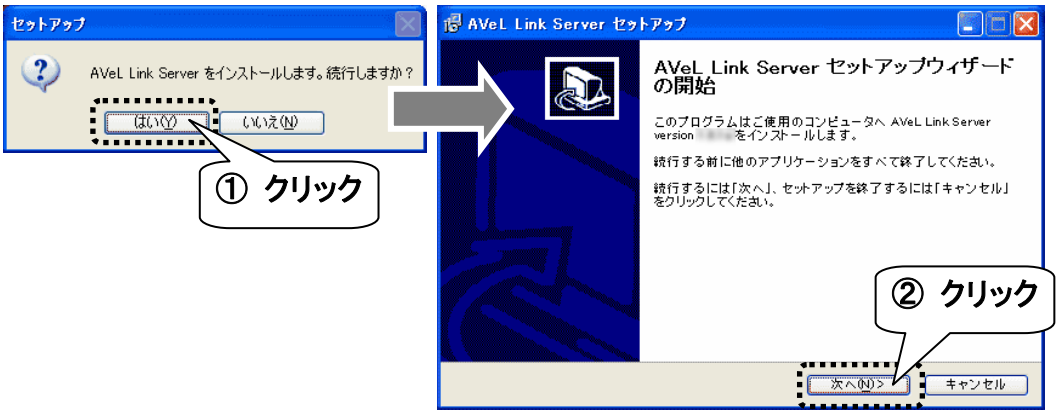
CD-ROM内の[AVLS]フォルダの[setup.exe]をダブルクリックしてください。

3 メニューの[AVeL Link Server]をクリックします。



4 [はい]ボタンをクリックし、[次へ]ボタンをクリックします。

⇒ メニューが自動的に表示されます。



5 [完了]ボタンをクリックします。



以上でインストールは完了です。
【⑤ パソコンのIPアドレスを確認する】（26ページ）へお進みください。

Mac OS Xの場合

1 パソコンの電源を入れます。

2 サポートソフトCD-ROMをCD-ROMドライブに入れます。

⇒ CD-ROM(AVLP2_xxx)アイコンがデスクトップに表示されます。(xxxはバージョン)

3 インストーラーを起動します。

[AVLP2_xxx]アイコン→[MAC]フォルダ→[avellinkx-xxx.dmg]を順次ダブルクリックします。

(xxxはバージョン)

順にダブルクリック



4 [AVeL Link Server] アイコンをアプリケーションフォルダにドラッグ &ドロップします。



以上でインストールは完了です。
【⑤ パソコンのIPアドレスを確認する】(26ページ)へお進みください。

⑤ パソコンのIPアドレスを確認する

本製品をDHCPサーバーの無いネットワークに接続した場合、本製品のIPアドレスをパソコンと通信できるIPアドレスに変更します。本製品のIPアドレスを設定するには、パソコンのIPアドレスを事前に調べておく必要があります。
ここでは、パソコンのIPアドレスを確認する方法を説明します。
方法はOSごとに異なりますので、お使いのOSのページのみご覧ください。

Windows XP/2000の場合

Windows XP/2000をお使いの場合にご覧ください。
27ページ

Windows Me/98 SEの場合

Windows Me/98 SEをお使いの場合にご覧ください。
29ページ

Mac OS Xの場合

Mac OS Xをお使いの場合にご覧ください。
30ページ

DHCPサーバーがある環境でご利用の場合は、本手順は必要ありません。

Windows XP/2000の場合

1 コンピュータの管理者（Administrator権限）のアカウントでログオンします。

2 「ネットワーク接続」を表示します。

Windows XP

① [スタート]ボタンをクリックします。

② スタートメニューの中にある[マイネットワーク]を右クリックします。

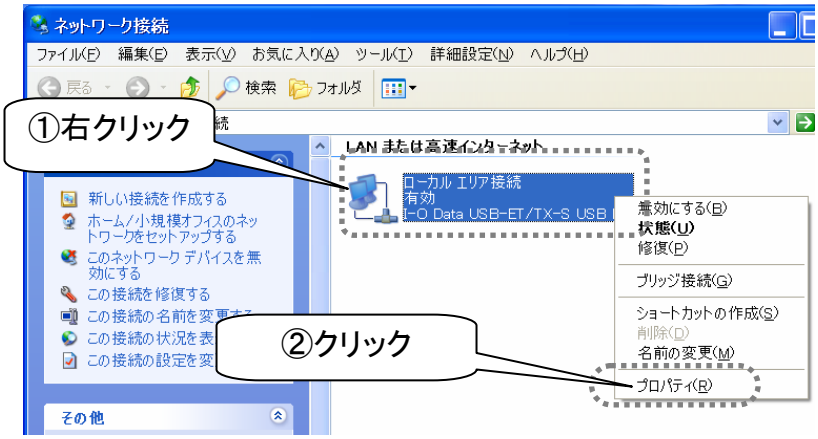
③ 表示された[プロパティ]をクリックします。

Windows 2000

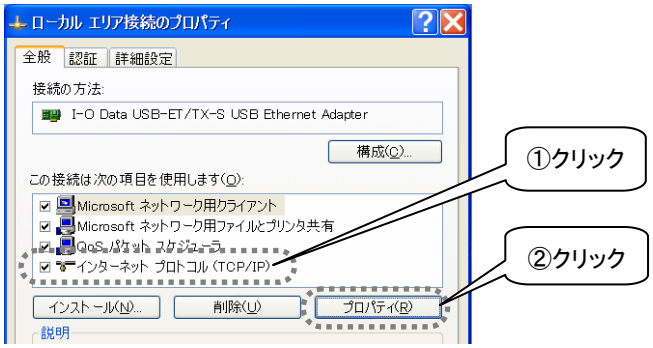
① デスクトップの[マイネットワーク]を右クリックします。

② 表示された[プロパティ]をクリックします。

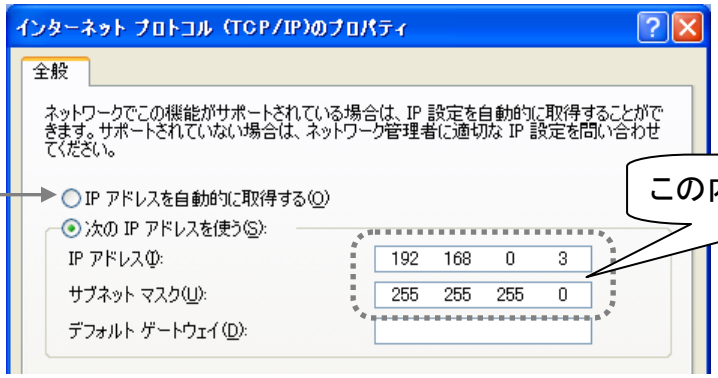
3 [ローカルエリア接続]を右クリックし、メニュー内の[プロパティ]をクリックします。



4 [インターネットプロトコル（TCP/IP）]をクリックし、[プロパティ]ボタンをクリックします。



5 IPアドレスとサブネットマスクの設定値を確認し、以下に控えます。



この内容を以下に控える

ここがチェックされている場合は、
以下を行ってください。

①「次のIPアドレスを使う」にチェックします。
② IPアドレス、サブネットマスクに値を入力します。
入力する値は、ネットワーク上の他の機器(他のパソコンなど)と重複しない値にしてください。
入力する値がわからないときは、上記の画面例と同じ値にしてください。
③入力した値を以下に控えます。
④[OK]ボタンをクリックします。

▼上記画面にて確認または入力したアドレスを記入してください。

IPアドレス	
サブネットマスク	

【⑥ 本製品の初期設定をする】（31ページ）へお進みください。

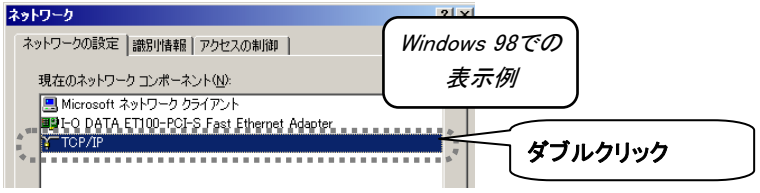
Windows Me/98 SEの場合

1 「ネットワーク」を表示します。

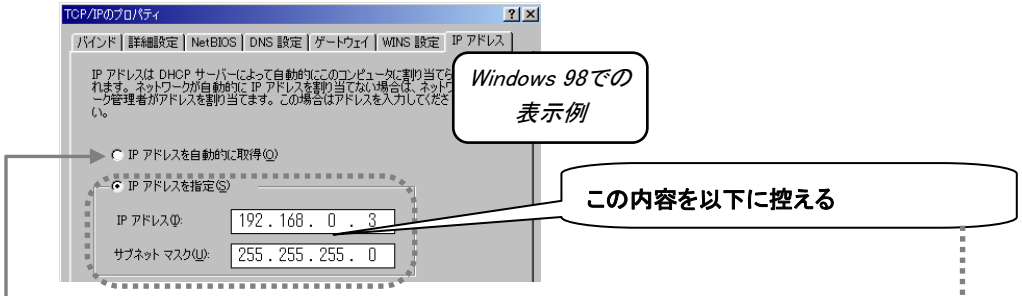
① 「コントロールパネル」を表示します。
　[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]の順にクリックします。
② [ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。

2 [TCP/IP]をダブルクリックします。

※ アダプターが複数ある場合は、[TCP/IPー>xxx]をダブルクリックします。(xxxはLANアダプター名称です。)



3 [ローカルエリア接続]を右クリックし、メニュー内の[プロパティ]をクリックします。



ここがチェックされている場合は、以下を行ってください。

①「IPアドレスを指定」にチェックします。
② IPアドレス、サブネットマスクに値を入力します。
　入力する値は、ネットワーク上の他の機器(他のパソコンなど)と重複しない値にしてください。
　入力する値がわからないときは、上記の画面例と同じ値にしてください。
③入力した値を以下に控えます。
④[OK]ボタンをクリックします。

▼上記画面にて確認または入力したアドレスを記入してください。

IPアドレス	
サブネットマスク	

【⑥ 本製品の初期設定をする】 (31ページ) へお進みください。

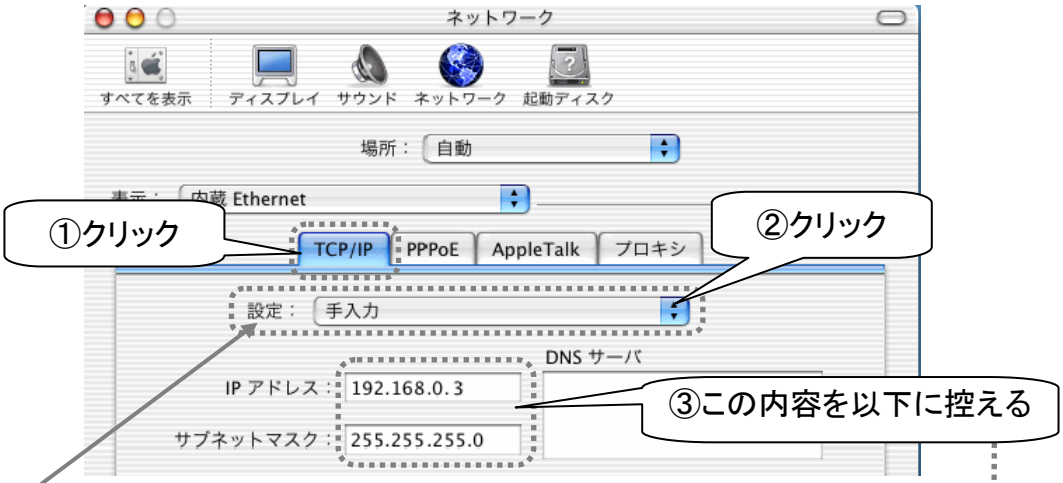
Mac OS Xの場合

1 「ネットワーク」を表示します。

「アップルメニュー」→「システム環境」→[ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。



2 [TCP/IP]タブをクリックして、IPアドレスとサブネットマスクの設定値を確認し、以下に控えます。



ここが「手入力」以外の場合は、以下を行ってください。

①[設定]で「手入力」を選択します。
② IPアドレス、サブネットマスクに値を入力します。
入力する値は、ネットワーク上の他の機器（他のパソコンなど）と重複しない値にしてください。
入力する値がわからないときは、上記の画面例と同じ値にしてください。
③入力した値を以下に控えます。
④[今すぐ適用]ボタンをクリックします。

▼上記画面にて確認または入力したアドレスを記入してください。

IPアドレス	
サブネットマスク	

【⑥ 本製品の初期設定をする】（31ページ）へお進みください。

⑥ 本製品の初期設定をする

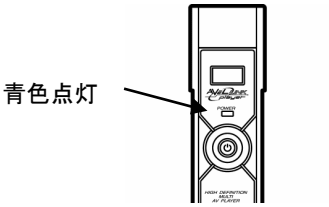
本製品のIPアドレスを設定する（DHCPサーバー無の場合）

1 【⑤ パソコンのIPアドレスを確認する】(26ページ)にて確認した内容を用意します。

2 リンクプレーヤーの電源を入れます。

→電源ランプが青色に点灯します

※ 電源が入るまでに数秒かかります。

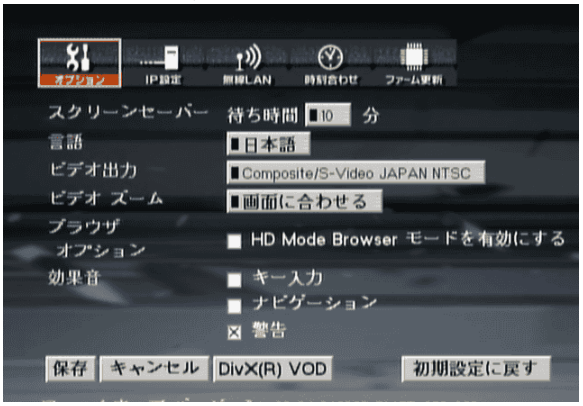


3 リモコンの[セットアップ]ボタンを押します。

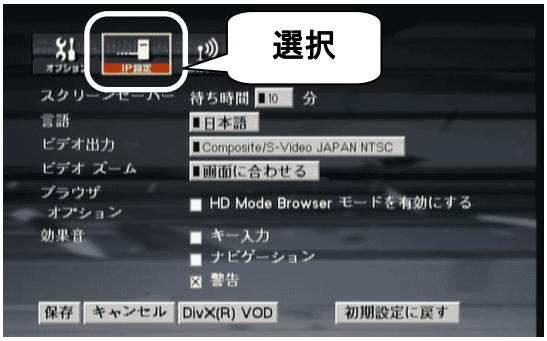
⇒ オプション設定画面が表示されます。

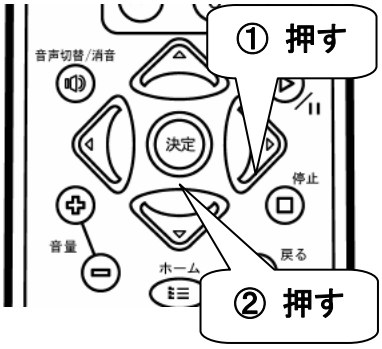
▼本製品に接続されたテレビの画面





4 [IP設定]を選択して、リモコンの[決定]ボタンを押します。





5 [手動で設定したい]を選択して、リモコンの[決定]ボタンを押します。

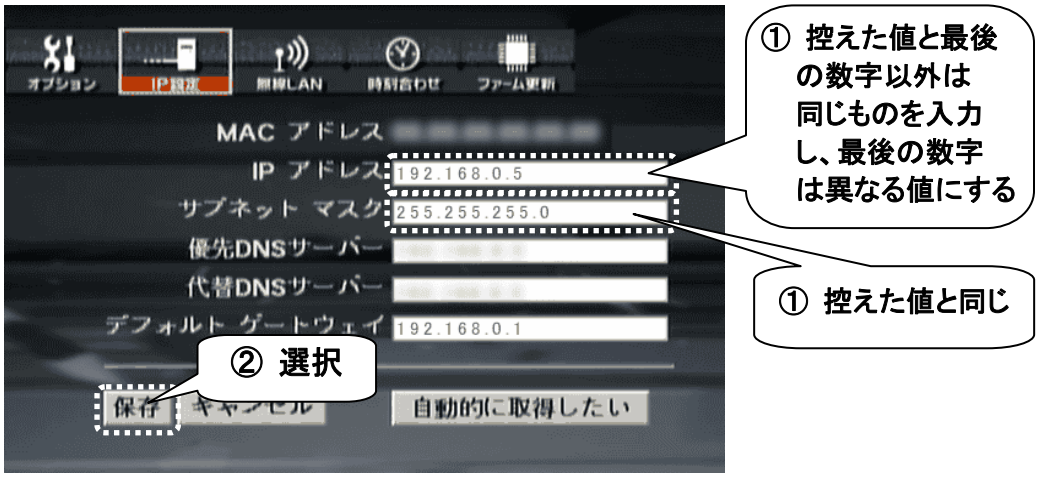


6 IPアドレスとサブネットマスクを入力します。

① 【⑤ パソコンのIPアドレスを確認する】(26ページ)で確認した値を参考に、IPアドレスとサブネットマスクを入力します。

② [保存]ボタンを選択して、リモコンの[決定]ボタンを押します。

（下記の設定値は例です。設定値はお使いの環境で異なります。）



ヒント

設定するIPアドレスについて

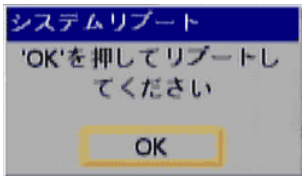
下記の例を参考に設定してください。例）パソコンのIPアドレスが"192.168.0.100"の場合

本製品のIPアドレス
192.168.0 . xxx
① ②

→

①は”192.168.0”にする。
（パソコンと同じにする）
②は”100”と異なる値にする

7 下記のメッセージが表示されたら、リモコンの[決定]ボタンを押します。



これで基本設定は終了です。

無線LANを使用する場合は【無線LANの設定をする】（本ページ下）へお進みください。

無線LANを使用しない場合は、これで基本設定は終了です。
【再生する】（39ページ）へお進みください。

無線LANの設定をする

無線LANを使用する場合のみ

1 以下の設定を確認します。

無線通信相手（アクセスポイントや無線LANアダプターなど）から設定を確認し、内容をメモしてください。

●確認する項目
- ・SSID
- ・暗号化設定
  - WEP（64bitまたは128bit）
  - WEPキー※

SSID	
WEP	□無効　□64bit　□128bit
WEPキー	

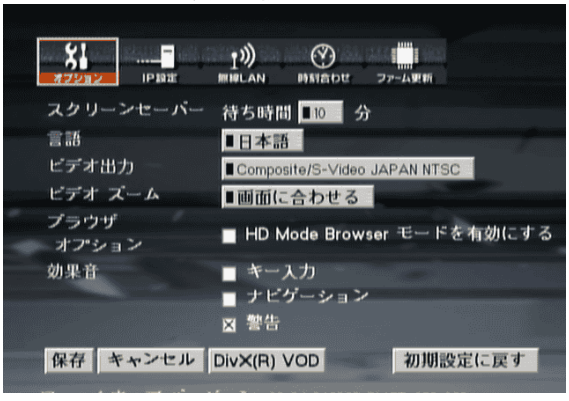
※ 本製品はWEPキーの位置は「1」固定です。無線通信相手の設定で、WEPキーの位置が「1」以外になっているときは、「1」に変更してください。

2 リモコンの[セットアップ]ボタンを押します。

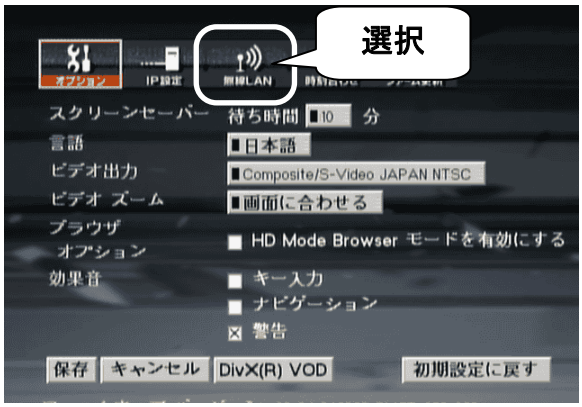
⇒ オプション設定画面が表示されます。

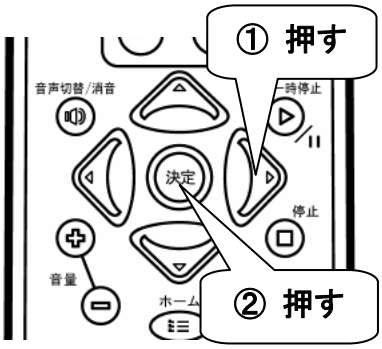


▼本製品に接続されたテレビの画面



3 [無線LAN]を選択して、リモコンの[決定]ボタンを押します。





4 無線LANを使う設定に切り替えます。

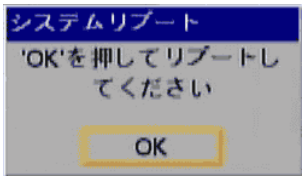
① [Wired]を選択し、リモコンの[決定]ボタンを押します。

② 表示された[Wireless]を選択し、リモコンの[決定]ボタンを押します。

③ [保存]を選択し、リモコンの[決定]ボタンを押します。



5 下記のメッセージが表示されたら、リモコンの[決定]ボタンを押します。



6 もう一度、無線LANの設定画面を開きます。

再度手順 **2**、**3** を行ってください。

7 SSIDを設定します。

[Available]の内容を確認します。

- **「----NONE----」と表示されている場合**

  リモコンの英数字ボタンを使い、[SSID] に手順 **7** で確認したSSIDを入力します。

  ⇒ 下記［SSIDを直接入力する場合］を参照。

- **手順 7 で確認したのと同じSSIDがある場合**

  ① 同じSSIDを選択し、リモコンの[決定]ボタンを押します。

  ②［Select］ボタンを選択して、リモコンの[決定]ボタンを押します。

  ⇒［SSID］にデータが入力されます。

- **手順 7 で確認したものと同じSSIDがない場合**

  リモコンの英数字ボタンを使い、[SSID] に手順 **7** で確認したSSIDを入力します。

  ⇒ 下記［SSIDを直接入力する場合］を参照。







ヒント

文字入力方法

リモコンの［入力モード］ボタンを押すことで、入力モードが切り替わります。

文字入力の手順については、15ページをご覧ください。

8 接続モードを確認・設定します。

アクセスポイントやルーターと通信する場合　　:[Infrastructure]

通信相手のパソコンと直接無線通信する場合　:[Ad-hoc]

※ Ad-hocモードでご利用いただく場合、最大通信速度は11Mbpsまでとなります。
　接続先の通信モードをIEEE 802.11bモードに設定してください。



9 [WEP]を設定します。

手順 *1* で確認したものと同じWEP（無効にする、64-bit、128-bit）を選択してください。



10 [WEPキー]を設定します。

手順 **1** で確認したものと同じWEPキーを設定してください。

※ WEPキーは、64-bit(10桁)、128-bit(26桁)の16進コードを設定します。



ヒント

文字入力方法

リモコンの［入力モード］ボタンを押すことで、入力モードが切り替わります。

文字入力の手順については、15ページをご覧ください。

入力方式の異なる無線LAN機器の暗号化について

本製品では、暗号キーとして「16進コード」での暗号キー入力方式を採用しています。

他の無線LAN機器では、「ASCIIコード」という英数字・記号で暗号キーを設定する方式のものがあります。

そのような無線LAN機器と暗号化（WEP）を行う場合は、下の表を参考に16進コードに置き換えた上で入力してください。

■ パソコンで使用される文字と16進数の対応表

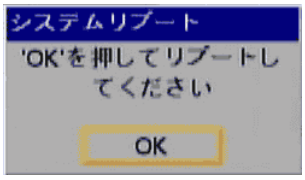
文字	16進	文字	16進	文字	16進	文字	16進	文字	16進	文字	16進
		0	30	@	40	P	50	`	60	p	70
!	21	1	31	A	41	Q	51	a	61	q	71
″	22	2	32	B	42	R	52	b	62	r	72
#	23	3	33	C	43	S	53	c	63	s	73
$	24	4	34	D	44	T	54	d	64	t	74
%	25	5	35	E	45	U	55	e	65	u	75
&	26	6	36	F	46	V	56	f	66	v	76
’	27	7	37	G	47	W	57	g	67	w	77
(	28	8	38	H	48	X	58	h	68	x	78
)	29	9	39	I	49	Y	59	i	69	y	79
*	2a	:	3a	J	4a	Z	5a	j	6a	z	7a
+	2b	;	3b	K	4b	[	5b	k	6b	{	7b
,	2c	<	3c	L	4c	¥	5c	l	6c	|	7c
−	2d	=	3d	M	4d	]	5d	m	6d	}	7d
.	2e	>	3e	N	4e	^	5e	n	6e	~	7e
/	2f	?	3f	O	4f	_	5f	o	6f		

11 **[保存]ボタンを選択し、リモコンの[決定]ボタンを押します。**

⇒ 設定を保存します。



12 **下記のメッセージが表示されたら、リモコンの[決定]ボタンを押します。**



これで基本設定は終了です。
【再生する】（次ページ）へお進みください。

再生する

再生する方法を説明します。

パソコン内のファイルを再生する	40ページ
USB機器から再生する	43ページ

パソコン内のファイルを再生する

本製品はパソコン(サーバー)に保管されている映画、写真、音楽の再生を行うことができます。

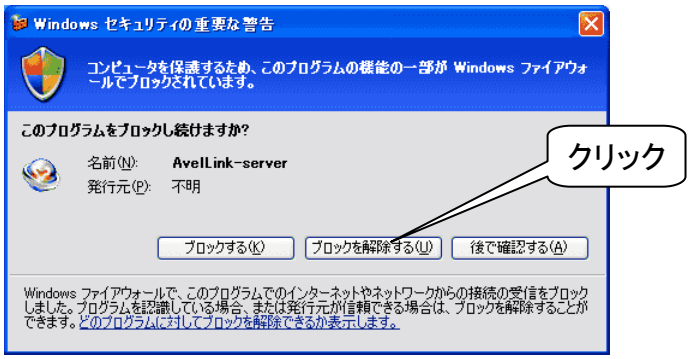
1 パソコンのAVeL Link Serverを起動します。

デスクトップ上のAVeL Link Serverショートカットアイコンをダブルクリックします。
または、[スタート]→[(すべての)プログラム]→[AVeL Link Server]→[AVeL Link Server]をクリックします。
※ AVeL Link Serverの詳細な使い方については【AVeL Link Serverのリファレンス】(62ページ) を参照してください。



注意！

● AVeL Link Serverを起動した際に、[Windowsセキュリティの重要な警告]画面が開く場合があります。この場合は、[プロックを解除する]をクリックしてください。



●ファイアウォールを使用している場合
セキュリティソフトなどでファイアウォールを使用している場合は、本製品が使えるように設定しなければならない場合があります。
※ 設定方法は、お使いのセキュリティソフトの取扱説明書を参照してください。
Windows
・AvelLink-server.exeに対して使用を許可するように設定します。
・ポート 1900、8000の使用を許可します。
Macintosh
システム環境設定の共有のファイアウォールでポート 1900、8000への着信を許可するように設定します。

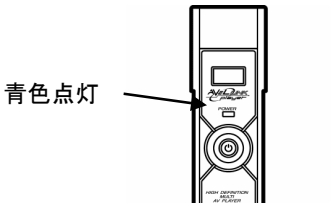
2 AVeL Link Serverにファイルを登録します。

再生したいデータがあるフォルダを指定、または指定フォルダにデータを転送します。
詳しくは、【AVeL Link Serverのリファレンス】(58ページ)をご覧ください。

3 リンクプレーヤーの電源を入れます。

→電源ランプが青色に点灯します

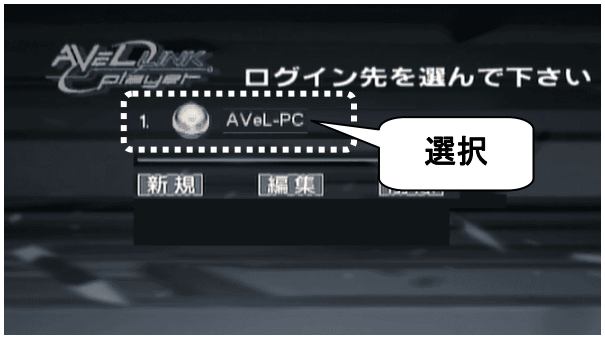
※ 電源が入るまでに数秒かかります。

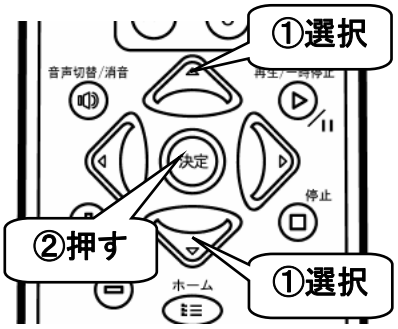


4 再生したいサーバーを選択します。

再生したいサーバーを選択して、リモコンの[決定]ボタンを押します。

選択可能なサーバーは自動的に赤いアイコンで表示されます。





困った時には

サーバーが表示されないときは…

⇒【本製品からサーバー（パソコン）への接続ができない場合について】（49ページ）をご覧ください。

ヒント

同時に登録できるサーバー数

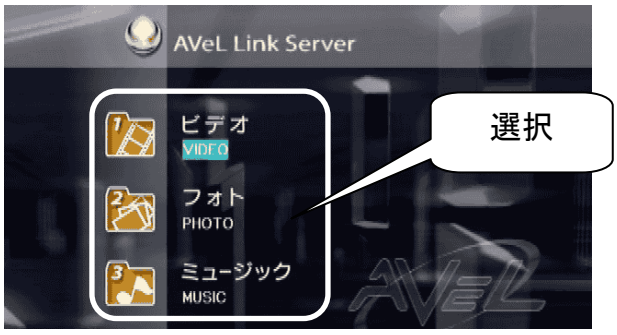
同時に登録できるサーバー数は10台までです。

現在接続されていないサーバーは［削除］してください。削除方法は、【本製品画面のリファレンス】の【サーバーログイン画面】(65ページ)を参照してください。

5 再生したいデータの種類を選択します。

再生したいデータの種類を選択して、リモコンの[決定]ボタンを押します。

⇒ 保管されているデータ(フォルダ)が表示されます。



6 データを再生します。

再生したいデータを選択して、リモコンの[決定]ボタンを押します。

⇒ データが再生されます。

ヒント

再生のされ方

データを選択 ⇒ 選んだデータが再生されます。

［連続］または［スライドショー］を選択 ⇒ 選んだフォルダ内のデータが順に再生されます。

［シャッフル］を選択 ⇒ 選んだフォルダ内のデータが順番を変えて再生されます。

表示されるファイル名の文字数

ファイル名の文字数は全角で最大20文字、半角で最大40文字です。

● ビデオ(映画)を再生する



● フォト(写真)を再生する

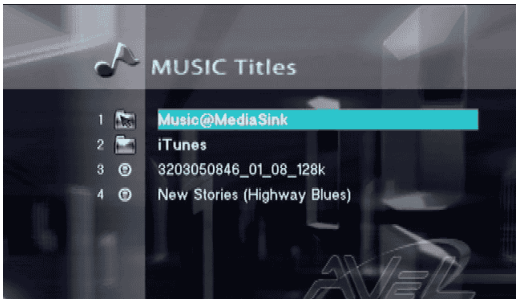


ヒント

スライドショーの音楽

【PHOTO（写真）を表示する】(59ページ)をご覧ください。

● ミュージック(音楽)を再生する



ヒント

MP3の情報について

【音楽】(62ページ)をご覧ください。

音楽再生中の背景

【MUSIC（音楽）を表示する】(59ページ)をご覧ください。

USB機器から再生する

本製品につないだUSB機器内のファイル再生方法について説明します。

1 USB機器を接続します。

① 本製品の電源を入れます。

② USB機器の電源を入れます。

③ 本製品前面のUSBポートにUSB機器を接続します。

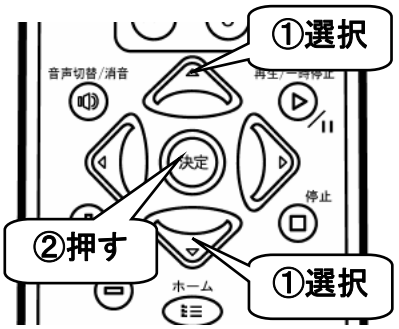
⇒ USB機器が認識されます。

注意！

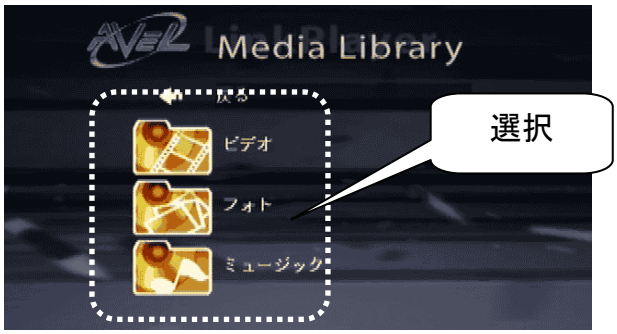
- USB機器はFAT16、FAT32フォーマットされたUSBマスストレージのみ対応です。
  お使いのUSB機器がUSBマスストレージかどうかは、各メーカーに確認してください。
- 必ず本製品の電源を入れてから、USB機器を接続してください。
  （正しく認識できない場合があります。）
- USBハードディスクを接続する場合、USBハードディスクによっては消費電流が500mAを越えるものがありますので、必ずACアダプターを接続してご使用ください。

2 USB機器を選択して、リモコンの[決定]ボタンを押します。



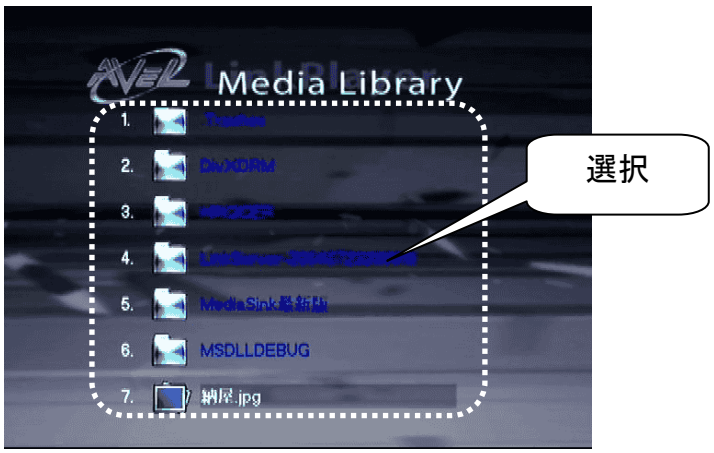


3 [ビデオ]、[フォト]、[ミュージック]のいずれかを選択して、リモコンの[決定]ボタンを押します。



4 再生したいデータを選択して、リモコンの[決定]ボタンを押します。

リモコンの[再生/一時停止]ボタンを押すと、表示しているデータを全て再生(連続再生)できます。



注意！

●USB機器内のファイルを見たり、再生しているときは、USB機器を取り外さないでください。

フォトデータは、JPEG形式のみ対応しております。
BMPなど他形式で書き込まれたファイルについては対応しておりません。
なお、ネットワークに接続されたパソコンから再生する場合は「JPEG,BMP,GIF,PNG」形式に対応しております。

困った時には

本製品を使っていて、困った時にご覧ください。

症状	原因／確認	処置
電源が入らない	ACアダプターは電源コンセントに接続されていますか？	ACアダプターを電源コンセントに接続してください。
	ACアダプターが本体に接続されていますか？	ACアダプターが本体に接続されていることを確認してください。
	主電源スイッチはオンになっていますか？	本体背面の主電源をオンにしてください。
リモコン操作ができない	リモコンの電池は消耗していませんか？	新しい電池と交換してください。
	電池の極性（＋，－）は正しいですか？	電池を正しく入れてください。
	本製品に向けて操作していますか？	本製品のリモコン受光部（本製品前面上）に向けて操作してください。
画面が映らない	「ビデオ出力」の設定に、接続されているテレビ、モニタ対応外の方式が設定されている。	① リモコンの出力切換ボタンを何度か押して、画面を映します。 ② 【オプション】(66ページ)で[ビデオ出力]をテレビ、モニタが接続されている出力に設定してください。
本製品のメニューにサーバーアイコンが表示されない	AVeL Link Server が起動していない	パソコンが起動し、かつAVeL Link Serverが起動しているかご確認ください。
	ネットワークの設定に問題がある	詳しい確認、対処内容については、【本製品からサーバー（パソコン）への接続ができない場合について】(49ページ)をご覧ください
	ハブやルーターによりネットワークがうまく通じていない状態ではないか？	本製品とパソコンをクロスケーブルで直接接続してみてどうかご確認ください。（直接接続した際は、本製品およびパソコンのIPアドレスは、手動で値を入力設定する必要があります。）
USB機器を接続したまま、本製品の電源を入れた	USB機器を接続したまま、本製品の電源を入れた	本製品の電源を入れた後に、USB機器の電源を入れてください。
ログイン画面で操作ができなくなる		
「指定されたサーバーに接続できません」 「しばらく待ってからAVeL Link にログインしてください」というメッセージが表示され、サーバー(パソコン)のファイルが見れない。	ネットワークの設定に問題がある	詳しい確認、対処内容については、【本製品からサーバー（パソコン）への接続ができない場合について】(49ページ)をご覧ください
AVeL Link Serverが起動しても操作できない	ウォッチフォルダやライブラリフォルダに指定していたハードディスクが取り外されました	ハードディスクを元に戻すか、取り外すハードディスクには、ウォッチフォルダやライブラリフォルダを指定しないでください。
	画像を保存するフォルダ名に、半角カタカナを使用していませんか？	半角カタカナを使用しないようにしてください。
	指定したフォルダ内のファイルの数が多すぎます。	ファイルの数を減らしてお試しください。

症状	原因／確認	処置
ビデオファイルが正しく再生できない	対応していないフォーマットです	添付のMediaSinkでMPEG形式に変換してください。 「Advanced Server」をご利用ください。 【本製品未対応の映像データを見る場合】(72ページ)をご参照ください。
	AVIファイルの場合、「インターリーブ設定」されているか確認してください。	「インターリーブ設定」が行なわれていないファイルを再生すると、映像・音声どちらかが再生できない場合があります。そのため、AVIファイルの作成・再生時には「インターリーブ設定」が行なわれているかご確認ください。 AVIファイル作成時の「インターリーブ設定」については、各エンコードアプリケーションのヘルプや説明書をご参照ください。
本製品の電源を入れてから画面が表示されるまで時間がかかる	ネットワーク接続がされていない場合は、IPアドレスが取得できないため時間がかかります。	しばらく（1分ほど）お待ちいただいてもサーバー選択画面が表示されない場合は、電源を入れ直して、再度起動してください。
本製品の電源を入れると、勝手に特定のサーバー（パソコン）にログインしてしまう	本製品の設定で自動的に特定のサーバー（パソコン）にログインするようになっています。	1. リンクプレーヤー起動時のログイン選択画面（サーバー名の一覧画面)を表示させます。「指定されたサーバーに接続できません」という画面が表示されている場合は、リモコンの「サーバー」ボタンを押すことでログイン選択画面に戻れます。 2. 「編集」を選択します。 3. 自動ログインを解除したいコンピュータ名を選択します。 4. ”常にこのAVeL Link Serverに接続します”に入っているチェックを外します。 5. 「保存」を選択します。
WMAファイルを再生しようとしたが、画面上に「DRM Not Supported」と表示され、再生できない	再生しようとしたWMAファイルは著作権保護されています。	【対応フォーマット】(7ページ)をご覧ください。
DivXファイルを再生しようとしたが､画面上に｢Q-PIXEL NOT SUPPORTED」表示され、再生できない	「Quarter Pixcel」設定を利用してエンコードしたDivXファイルを再生しようとしています。	【対応フォーマット】(7ページ)をご覧ください。
AVeL Link ServerのVIDEOで指定したフォルダに、拡張子「.ORIGINAL」のファイルが作成される	OpenDivX3形式のビデオを変換したときの元データを残しているためにできるファイルです。	OpenDivX3形式のビデオを自動的に変換したとき､元のデータを拡張子｢.ORIGINAL」のファイルとして保存します。 元のデータがいらない場合は、そのまま削除しても問題ありません。 また、AVeL Link Serverの設定で、変換後の元データファイルは自動的に削除することもできます。 【AVeL Link Serverのリファレンス】(58ページ) 参照
USB機器、弊社製LAN接続HDDの中の静止画が表示されない	JPEG以外の静止画ファイルを見ようとしています。	USB機器、弊社製LAN接続HDDの中のフォトデータは、JPEG形式のみ対応しております。BMPなど他形式で書き込まれたファイルについては対応しておりません。

症状	原因／確認	処置
静止画を表示すると、周りに黒枠が表示される	640x480を越えた解像度の静止画を見ようとしています。	USB機器、弊社製LAN接続HDDの中のファイルは、640x480より大きい解像度の静止画を見る場合、自動的に縮小して表示されます。 その場合、周りに黒枠が表示されることがあります。
MUSICファイルで、「アルバム、歌手、ジャンル」に分類されない	AVeL Link Server起動中に、ファイルの追加・削除しています。	ファイルの追加・削除後、一度AVeL Link Serverを再起動してください。 (右下の通知領域に常駐起動している場合、アイコンを右クリックし、終了してください)
	ウォッチフォルダにデータが入っています。	分類が行なわれるのは「デフォルトライブラリ」で指定したフォルダ内のデータとなります。
	ファイル内にID3タグ情報が記録されていません。	分類するには、ファイル内にID3タグ情報が記録されている必要があります。 ID3タグ情報はファイル作成時のリッピングソフトなどで設定可能です。 Windows XPの場合は、以下の方法で設定できます。 ① ファイルを右クリックし、プロパティをクリックします。 ② 表示された画面の［概要］タブをクリックします。 ③ ［詳細設定］ボタンをクリックします。 ④ タグ情報を設定できます。
	AVeL Link Serverが分類しない設定になっている	AVeL Link Serverの［曲情報を読み取る］にチェックを付けてください。 62ページをご覧ください。

本製品からサーバー(パソコン)への接続ができない場合について

本製品のメニューにサーバーが表示されない、または表示されているサーバーをリモコンの[決定]ボタンで選択しても「指定されたサーバーに接続できません」、「しばらく待ってから. . . ログインしてください」というメッセージが表示される場合は、以下の内容をご確認ください。

1 まず、パソコン側と本製品にてネットワーク接続が正しく行なわれているかを確認します。

【確認手順】

① 本製品のメニューが表示されている状態で、リモコンの「セットアップ」ボタンを押し、表示された画面の「IP設定」を開いて、本製品に設定されたIPアドレスの値を確認します。

② パソコンから本製品へネットワーク接続できているか確認します。

Windows

(1) 本製品とLAN接続されているパソコン側で、「コマンドプロンプト(MS-DOSプロンプト)」を起動します。

・Windows XP/2000/Me
[スタート]→[すべてのプログラム(プログラム)]→[アクセサリ]→
[コマンドプロンプト(MS-DOSプロンプト)]

・Windows 98 SE
[スタート]→[プログラム]→[MS-DOSプロンプト]

(2) 「C:¥xxxx＞」(xxxxの部分は環境によって異なります)の次にカーソルが点滅していますので、続けて以下のように入力をします。

例:本製品のIPアドレスが192.168.0.5の場合
C:¥xxxxx>PING 192.168.0.5 と入力し、[Enter]キーを押してください。

(3) メッセージが表示されますので、ネットワークの状態を判断します。

▼(例)本製品のIPアドレスが192.168.0.5の場合

ーネットワーク接続ができていない場合の例ー
Request timed outもしくは Destination host unreachable
ー正しくネットワーク接続されている場合の例ー
Reply from 192.168.0.5: bytes=32 time=40ms TTL=127

Mac OS X

(1) 本製品とLAN接続されているパソコン側で、デスクトップからOSがインストールされているHDDアイコンをダブルクリックし、[アプリケーション]→[ユーティリティ]→[ネットワークユーティリティ]を起動します。

(2) [PING]タブを選びます。

(3) 「PINGコマンドを送信するネットワークアドレスを入力してください」の欄に確認したIPアドレスを入力し、[PING]ボタンをクリックします。

(4) メッセージが表示されますので、ネットワークの状態を判断します。

▼(例)本製品のIPアドレスが192.168.0.5の場合

ーネットワーク接続ができていない場合の例ー
PING:Send to:No Route to Host
ー正しくネットワーク接続されている場合の例ー
64byte from 192.168.0.5 icmp_seq=0 ttl=254 time=26.532

2 確認操作の結果に合わせて、必要な対処を行います。

ネットワーク接続ができていない場合

●ケーブルの接触不良による問題

本製品背面のLANジャックや、HUBやルーターのケーブルを取り付けるジャック、パソコンのケーブルを取り付けるジャックについて、一度ケーブルの抜き差しを行ってください。

●IP設定の内容に誤りがある(IPアドレスを手動で設定した場合)

本製品の[IP設定]で入力したIPアドレスやサブネットマスクに間違いがないかご確認ください。

⇒ 【本製品のIPアドレスを設定する】(31ページ) 参照

●SSIDやWEPキーの設定に誤りがある(無線LANでご利用の場合)

本製品の[無線LAN]設定で、本製品と無線LANで接続する相手機器に設定されているSSIDやWEPと

同じものが設定されているか、入力に誤りがないかご確認ください。

⇒ 【無線LANの設定をする】(33ページ) 参照

●本製品と無線LAN機器の電波状況の問題(無線LANでご利用の場合)

遮断物や設置距離により、無線LANの電波が到達しない、また電波が弱い状態となっている可能性があります。本製品と通信先無線LAN機器との距離を短くしたり、見通しの良い場所に設置してご確認ください。

正しくネットワーク接続されている場合

●AVeL Link Serverが起動・常駐していない

接続先のパソコンが起動しているか、またAVeL Link Serverプログラムが起動・常駐しているかご確認ください。

また、AVeL Link Serverが起動済みでも、Avel Link Serverの指定フォルダにファイルが多く入っていると、AVeL Link Serverの起動に時間がかかったままになっている可能性も考えられます。

AVeL Link Serverで指定のフォルダからファイルを減らす、または【AVeL Link Serverのリファレンス】(58ページ)のヒント(ヒント)をご参照の上、フォルダを変更してから、AVeL Link Serverを起動し直してみてどうかご確認ください。

●パソコンにファイアウォールが設定されている

接続先のパソコンにウィルスチェック・ファイアウォールなどのセキュリティ関連のソフトがインストールされている場合は、これらのソフトのファイアウォール機能により、本製品とパソコン上のAVeL Link Serverが通信できない状態となっている場合があります。

このようなソフトをインストールされている場合は、ソフト側のファイアウォール機能を無効にしてみてどうかご確認ください。

※ 常駐を解除しただけではファイアウォール設定が解除されないアプリケーションなどもあります。アプリケーション内の設定においてファイアウォールに関する設定をご確認の上、設定を解除してお試しください。

ファームウェアの更新ができない場合について

本製品のファームウェア更新は、本製品がインターネットに接続できる必要があります。
ファームウェアの更新ができない原因としては、インターネットに接続する場合に必要なアドレスの設定がされていない、または間違っていることが考えられます。
以下をご確認ください。(ご利用環境の個所をご参照ください。)

ご利用環境にDHCPサーバーがある場合

(例) ルーター(DHCPサーバー機能あり)をご利用の場合

1 まず、ご利用環境でインターネットへ接続可能か確認します。

本製品を接続したネットワークに設置されているパソコンはインターネットへ接続できるかご確認ください。

2 本製品の[IP設定]で設定された「優先DNSサーバー」「代替DNSサーバー」「デフォルトゲートウェイ」の設定が、インターネットへ接続できているパソコンと同じ値になっているか確認し、異なっている場合はパソコンと同じ値を入力します。(以下手順参照)

2-1 パソコンの設定値を確認します。

Windowsの場合

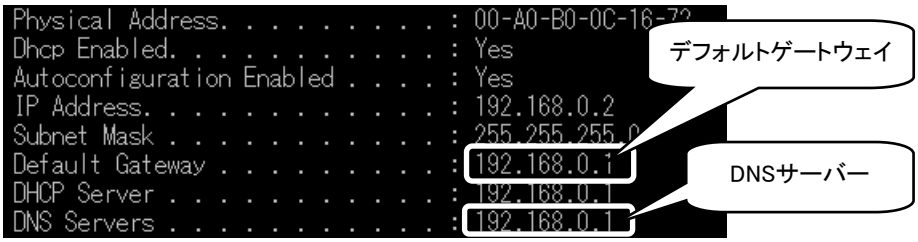
① インターネットに接続できるパソコンで、[スタート]→[すべてのプログラム (プログラム)]→[アクセサリ]→[コマンドプロンプト (MS-DOSプロンプト)] を起動します。

②「C:¥xxxx>」 (xxxxの部分は環境によって異なります) の次にカーソルが点滅していますので、続けて以下のように入力し、 [Enter] キーを押します。

● **Windows XP/2000の場合**

以下を入力

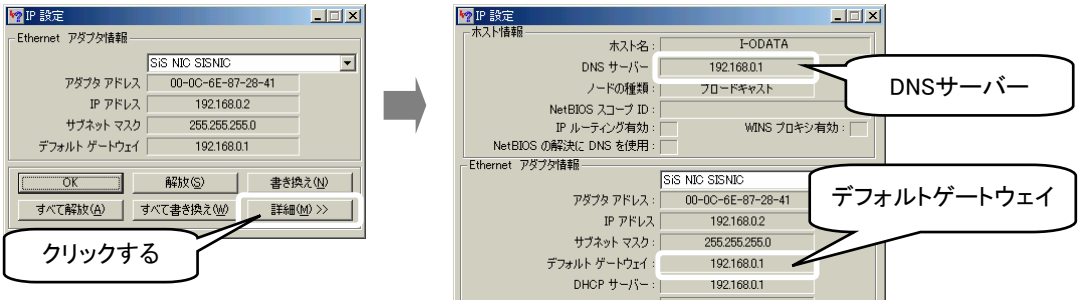
IPCONFIG -ALL (IPCONFIGと-の間は半角スペース)



● **Windows Me/98 SEの場合**

以下を入力

WINIPCFG



Mac OS Xの場合

【Mac OS Xの場合】(30ページ)をご覧になり、確認を行ってください。

2-2 本製品の設定値を確認します。

① リモコンの［セットアップ］ボタンを押し、表示された設定画面にて、「ＩＰ設定」を選択します。
② 表示された画面の優先DNSサーバー／デフォルトゲートウェイの値を確認します。

2-3 パソコンと本製品の値を確認します。

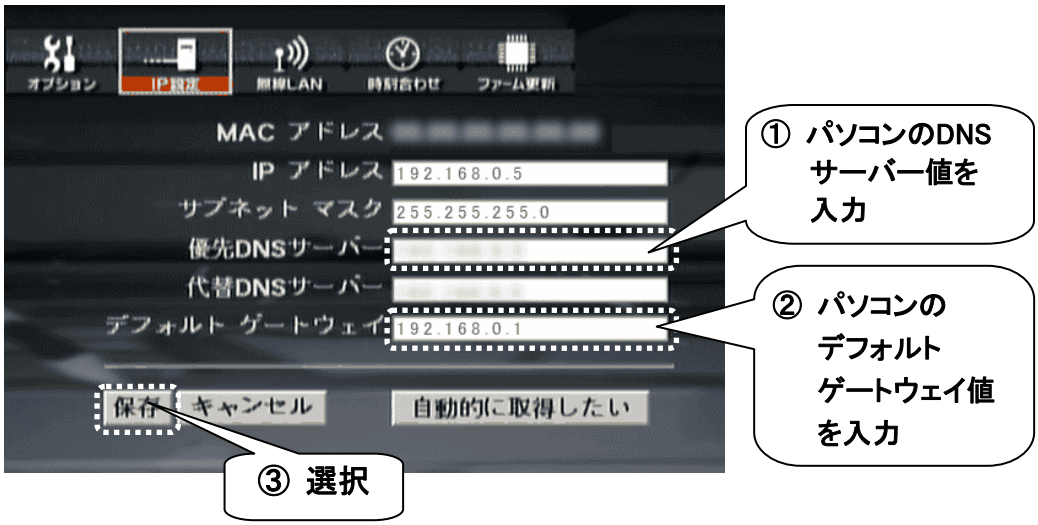
２－１．２－２．で確認した内容に相違がないか確認します。

2-4 相違がある場合は本製品設定値を変更します。

① 本製品設定画面の「手動で設定したい」を選択し、リモコンの［決定］ボタンを押します。



② 表示された画面の優先DNSサーバー／デフォルトゲートウェイに２－１で確認したパソコンの値を入力し、「保存」を選択して、リモコンの［決定］ボタンを押します。



ご利用環境にDHCPサーバーはないが、インターネットが使用できる環境がある場合

（例） モデムとパソコン1台でインターネットを使用しており、本製品はHUBを介して接続している場合

1 パソコンのIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバーの値をメモに控えます。

Windows

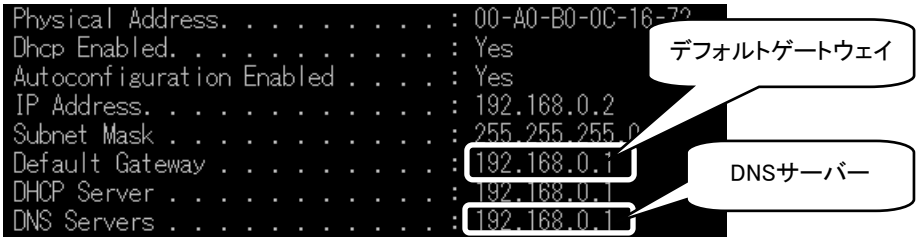
① インターネットに接続できるパソコンで、[スタート]→[すべてのプログラム（プログラム）]→[アクセサリ]→[コマンドプロンプト（MS-DOSプロンプト）] を起動します。

②「C:¥xxxx＞」（xxxxの部分は環境によって異なります）の次にカーソルが点滅していますので、続けて以下のように入力し、 [Enter] キーを押します。

● **Windows XP/2000の場合**

以下を入力

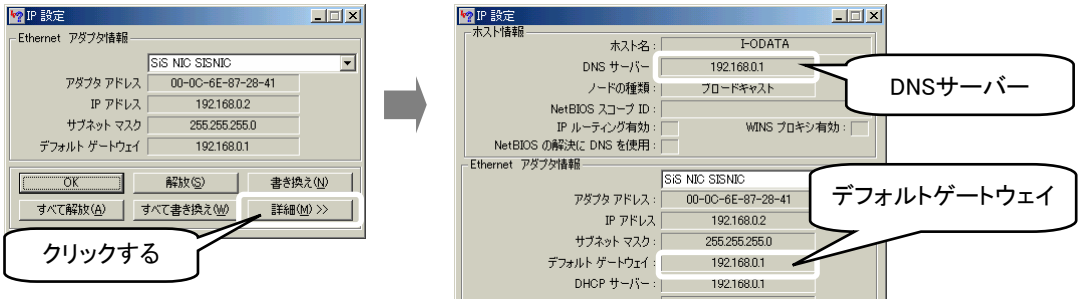
IPCONFIG -ALL （IPCONFIGと-の間は半角スペース ）



● **Windows Me/98 SEの場合**

以下を入力

WINIPCFG



Mac OS Xの場合

【Mac OS Xの場合】(30ページ)をご覧になり、確認を行ってください。

2 本製品のIPアドレス、サブネットマスクの値をメモに控えます。

① リモコンの[セットアップ]ボタンを押し、表示された設定画面にて、「IP設定」を選択します。

② 表示された画面のIPアドレス、サブネットマスクの値をメモに控えます。



注意！

- 一旦書き替えますので、必ずメモに控えてください。

3 本製品のIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、優先DNSサーバーに1で控えたパソコンの値を入力し、「保存」を選択して、リモコンの[決定]ボタンを押します。



4 パソコンの電源を落とします。(本製品の電源は入った状態のまま。)

5 リモコンのセットアップボタン押下後の設定画面にて「ファーム更新」を選択し、ファームウェアの更新を行います。

6 **ファームウェアを更新後、「IP設定」の設定画面にて2で控えたIPアドレス、サブネットマスクの値を入力し、「保存」を選択して、リモコンの［決定］ボタンを押します。**



MEMO

その他

AVeL Link Serverのリファレンス	58ページ
本製品画面のリファレンス	65ページ
他の機器をつなぐ	69ページ
弊社製LAN接続HDDを使用する場合	70ページ
本製品未対応の映像データを見る場合	72ページ
弊社製mAgicTVを使用する場合	74ページ
ファームウェアの更新をする	75ページ
CD-ROMの内容（Windowsのみ）	76ページ
AVeL Link Serverを削除する	77ページ
仕様	78ページ
アフターサービス	79ページ

AVeL Link Serverのリファレンス

Windowsの場合

Mac OS Xの場合は、64ページへお進みください。

AVeL Link Serverはパソコンに保管されている映画、写真、音楽の登録、写真再生時のバックグランドミュージックの指定、音楽再生時の背景の指定を行うことができます。

● AVeL Link Serverを起動する

● **デスクトップ上の[AVeL Link Server]アイコンをダブルクリックします。**

⇒ 下の画面が表示されます。



ヒント

スタートメニューからの起動

[スタート]→[(すべての)プログラム]→[AVeL Link Server]→[AVeL Link Server]をクリックします。

● VIDEO(映画)を表示する

● **[VIDEO]ボタンをクリックします。**



ヒント

データを以下のフォルダに転送してください。

Windows XP/2000の場合（出荷時設定）

Documents and Settings¥[ログインしているユーザー名]¥My Documents¥My Videos

Windows Me/98 SEの場合（出荷時設定）

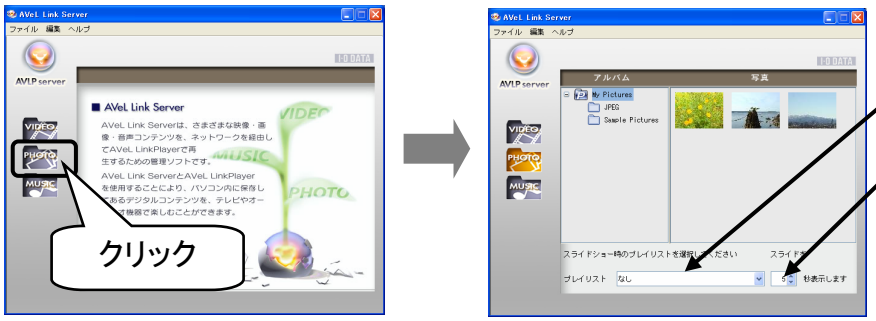
¥My Documents¥My Video

※ フォルダを変更する場合は、【映画】(61ページ)で行います。

● PHOTO(写真)を表示する

● [PHOTO]ボタンをクリックします。

スライドショーの再生中に、音楽を再生することができます。「プレイリスト」から音楽フォルダを選択します。また、スライド表示の間隔を指定します。



ヒント

データを以下のフォルダに転送してください。

Windows XP/2000の場合（出荷時設定）

Documents and Settings¥[ログインしているユーザー名]¥My Documents¥My Pictures

Windows Me/98 SEの場合（出荷時設定）

¥My Documents¥My Pictures

※ 指定したフォルダ内にファイルを多く入れると、AVeL Link Serverの起動に時間がかかる場合があります。

※ フォルダを変更する場合は、【写真】(62ページ)で行います。

● MUSIC(音楽)を表示する

● [MUSIC]ボタンをクリックします。

音楽再生中に、背景に写真データを表示することができます。「写真アルバム」から選択します。



ヒント

データを以下のフォルダに転送してください。

Windows XP/2000の場合（出荷時設定）

Documents and Settings¥[ログインしているユーザー名]¥My Documents¥My Music

Windows Me/98 SEの場合（出荷時設定）

¥My Documents¥My Music

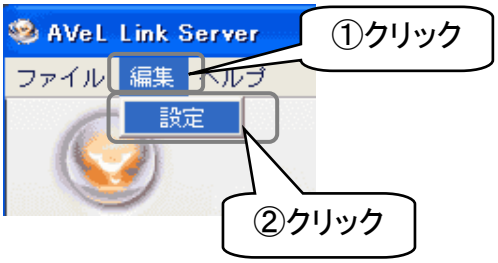
※ 指定したフォルダ内にファイルを多く入れると、AVeL Link Serverの起動に時間がかかる場合があります。

※ フォルダを変更する場合は、【音楽】(62ページ)で行います。

● MUSIC(音楽)を表示する

AVeL Link Server上での各種設定を行います。

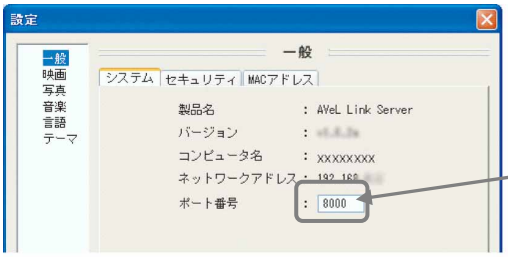
● [編集]→[設定]をクリックします。



■ 一般

● システム

AVeL Link Serverの情報を表示します。また、使うポート番号を設定できます。

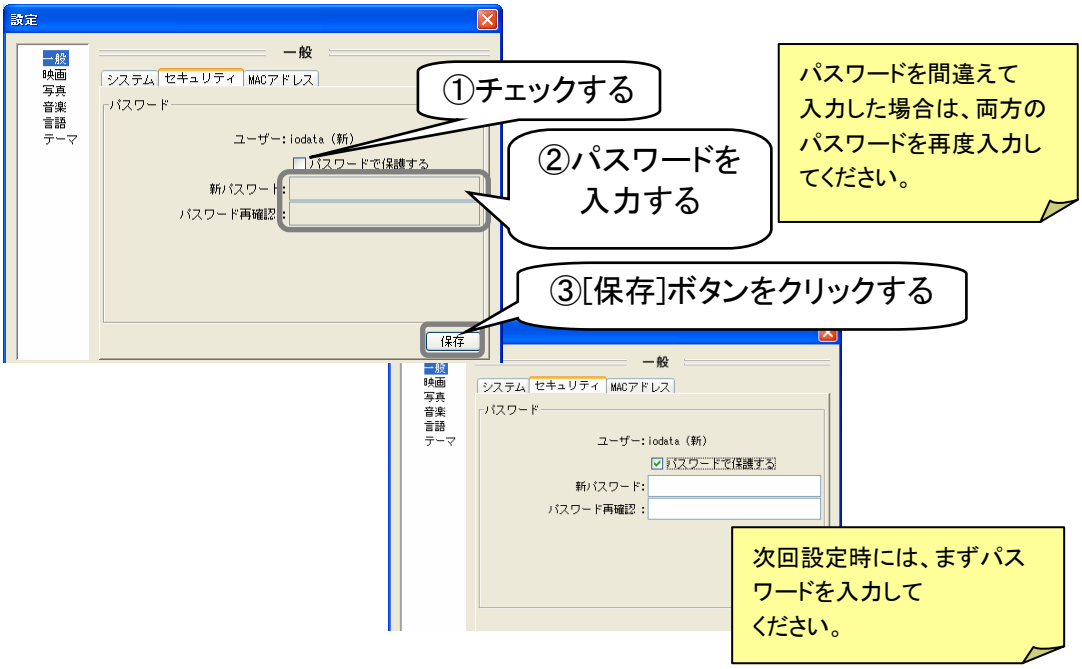


ポート番号
※ 変更の必要はありません。

● セキュリティ

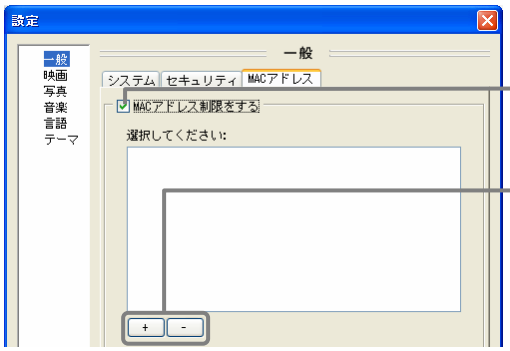
パスワードを設定すると、リンクプレーヤーから本サーバーの内容を再生しようとしたときに、パスワードの入力が必要になります。

※ 設定したパスワードは忘れないようにしてください。



● **Macアドレス**

Macアドレスの制限をする場合に設定します。



チェックすると、登録したMACアドレスを持つリンクプレーヤーのみアクセス可能にします。

MACアドレスを登録・削除します。

■ 映画

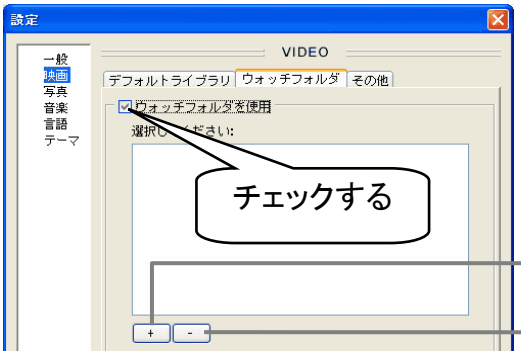
● **デフォルトライブラリ**

映画・動画データが保管されているフォルダを指定します。



● **ウォッチフォルダ**

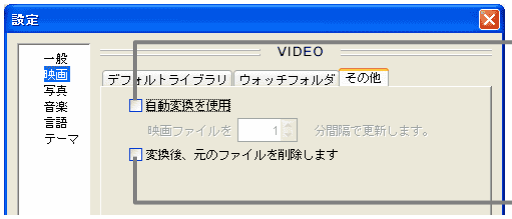
上記で指定したフォルダ以外のフォルダを追加します。



フォルダを追加するときクリックします。

フォルダを削除するときクリックします。

● **その他**



チェックを付けると、OpenDivx3形式のファイルを自動的に変換します。本製品はOpenDivx3形式のファイルを再生できますので、必要ありません。

チェックすると、変換後元のファイルを削除します。

■ 写真

写真データが保管されているフォルダを指定します。



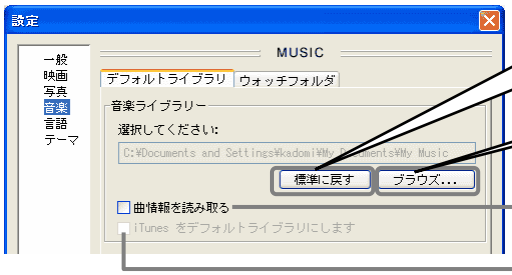
標準のフォルダを指定する

フォルダを指定する

■ 音楽

● **デフォルトライブラリ**

音楽データが保管されているフォルダを指定します。



標準のフォルダを指定する

フォルダを指定する

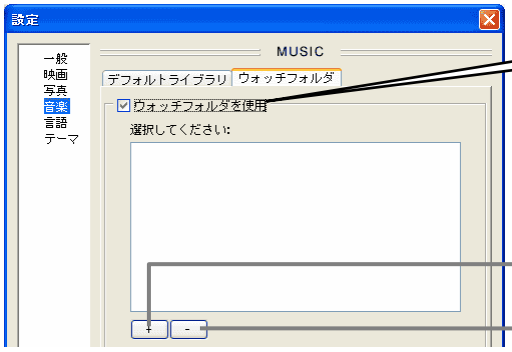
MP3ファイルのID3タグの情報で、「アルバム」「歌手」「ジャンル」に分類して表示します。

チェックすると、iTunesが管理しているフォルダ内の音楽をデフォルトライブラリとして指定します。
（iTunesがインストールされていない場合は、グレー表示になります。）

● **ウォッチフォルダ**

上記で指定したフォルダ以外のフォルダを追加します。

※ ID3タグ情報の分類は行われません。



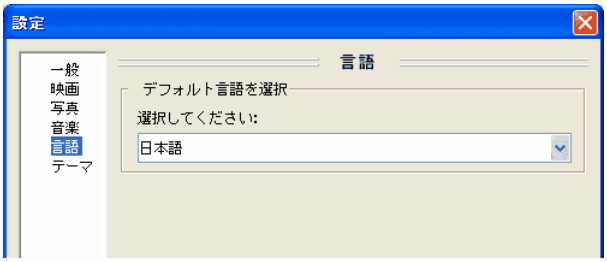
チェックする

フォルダを追加するときクリックします。

フォルダを削除するときクリックします。

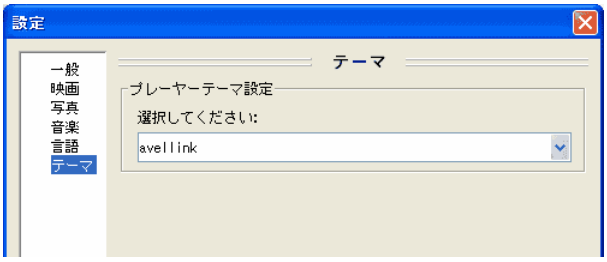
■ 言語

AVeL Link Serverの言語を指定します。
日本語から変える必要はありません。



■ テーマ

画面のテーマを指定します。
（「avellink」のみ選択可能です。）



Mac OS Xの場合

AVeL Link Serverはパソコンに保管されているコンテンツ(映画、写真、音楽)の管理を行うことができます。

再生したい映画、写真、音楽のデータは以下のフォルダに入れてください。

・映画--- ムービーフォルダ※にファイルをコピーします。

※ ムービーフォルダはローカルディスク→ユーザー→(ログインユーザー名)→ムービーにあります。

・写真--- iPhotoのフォトライブラリへコピーします。

・音楽--- iTunesのライブラリへコピーします。

● 起動する

● [AVeL Link Server]アイコンをダブルクリックします。

⇒ AVeL Link Serverが起動し、ドックエリアに表示されます。



本製品画面のリファレンス

サーバーログイン画面

本製品の電源を入れたときにテレビに表示される以下の画面（[新規]、[編集]、[削除]）について説明します。



● 新規

接続するサーバー（パソコン）を手動で追加します。
AVeL Link Severがインストール・起動しているパソコンが本製品と正常に接続されていれば、通常自動で登録（表示）されます。万が一自動で登録されない場合は、ここから登録します。

※ 登録可能なサーバー数は10台までです。



● 編集

接続するサーバー（パソコン）の登録内容を変更します。



パソコン名　　接続するサーバーのパソコン名を入力します。（「新規」でのみ入力可能）
パソコンIP　　接続するサーバーのIPアドレスを入力します。
常にこのAVeL Link Serverに接続します　　本製品起動と同時にサーバーへ接続します。
ただし、サーバーが先に起動している必要があります。

ヒント

パソコン名の確認方法（Windows XPの場合）

[コントロールパネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[システム]→[コンピュータ名]タブをクリックすると、「フルコンピュータ名」部分にパソコン名（コンピュータ名）が表示されます。

● 削除

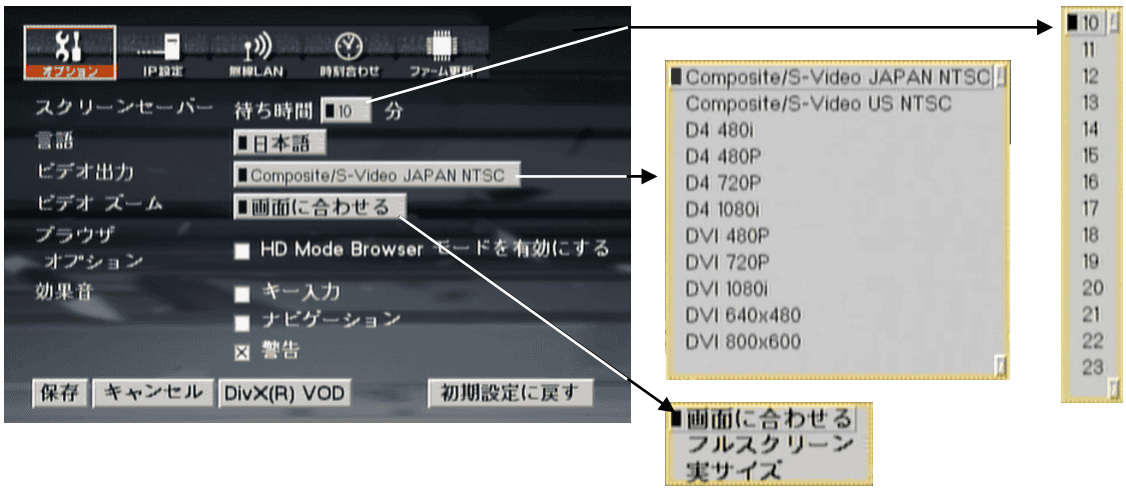
接続するサーバー（パソコン）の登録内容を削除します。
接続しなくなったサーバーはここから削除してください。

設定画面

本製品の各種設定を行います。リモコンの[セットアップ]ボタンを押すことで表示されます。

■ オプション

ご使用の環境に合わせて以下の設定を行います。
設定が終了したら、[保存]にカーソルを移動して、リモコンの[決定]ボタンを押します。



●スクリーンセーバー

操作が無いときの画面が表示されるまでの時間を設定します。

●言語

使いません。（2004年10月現在）

●ビデオ出力

ビデオ出力先を指定します。コンポジット端子/S端子、D端子※1、DVI端子※2へ出力を切り替えます。

※1 D端子種類（480i/480P/720P/1080i）

※2 DVI端子種類（480P/720P/1080i/640x480/800x600/1024x768/852x480(Plasuma TV)）

●ビデオズーム

ファイルモード時は画面の表示方法を切り替えます。以下の３種類指定できます。

・画面に合わせる（FIT TO SCREEN）
　モニタサイズに合わせて表示しますが、アスペクト比は保持して表示されるため、ゆがみがなく表示できますが、モニタによっては黒い帯の表示が出る可能性があります。

・フルスクリーン（FULL SCREEN）
　モニタサイズに合わせて表示しますが、アスペクト比を保たずに表示しますので画面いっぱいに表示できますがファイルによってはゆがんで表示されます。

・実サイズ（ACTUAL SIZE）
　ファイルのサイズをそのまま表示します。サイズが大きすぎる場合は、画面に合わせます。

●ブラウザオプション

画面の表示領域を拡大させることができます。（ハイビジョンテレビに表示するときにチェックします。）

●効果音

キー入力、ナビゲーション、警告音を鳴らすかどうかを選択します。

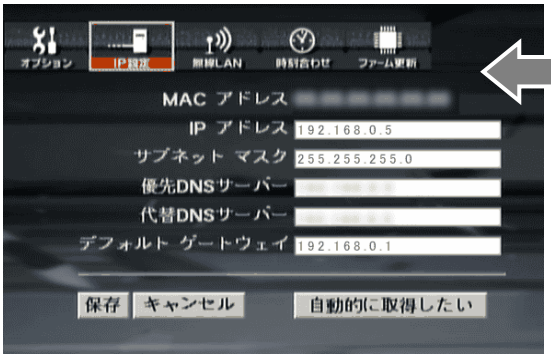
●DivX VOD

使いません。(2004年10月現在)

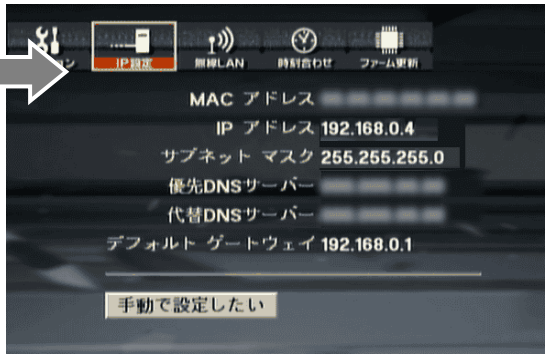
■ IP設定

[IP設定]を選択して、リモコンの[決定]ボタンを押します。
現在の設定されている内容が表示されます。
IPアドレスを指定したい場合は、[手動で設定したい]を選択して、リモコンの[決定]ボタンを押します。
IPアドレスなどの変更後、保存ボタンを選択して、リモコンの[決定]ボタンを押してください。
IPアドレスを自動的に取得したい場合は、[自動的に取得したい]を選択して、リモコンの[決定]ボタンを押します。

IPアドレスを手動で設定する場合



IPアドレスを自動で取得したい場合



※ MACアドレス：表示内容は、無線LANのネットワークで指定されているLANのMACアドレスです。

●ルーターやアクセスポイントを使用している場合(IPアドレスを自動取得している)

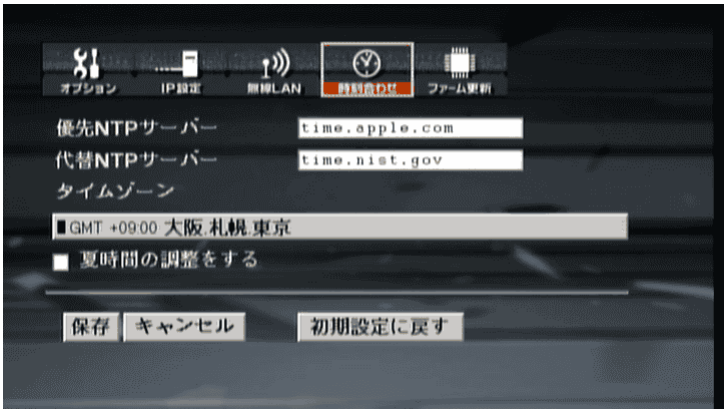
通常「IPアドレスを自動的に取得」でお使いいただけます。

●パソコンが固定IPアドレスを設定している場合

(「インターネットプロトコル(TCP/IP)」で「次のアドレスを使う」に設定している場合)
「IPアドレスを手動で設定」でお使いください。設定するデータなどについての説明は、【本製品のIPアドレスを設定する】(31ページ)を参照してください。

■ 時刻の設定

本製品では使用しません。(設定の必要はありません。)



■ ファームウェアの更新

ファームウェアの更新を行います。
※ 本製品がインターネットに接続できる環境が必要です。



● ファームウェア更新のための点検

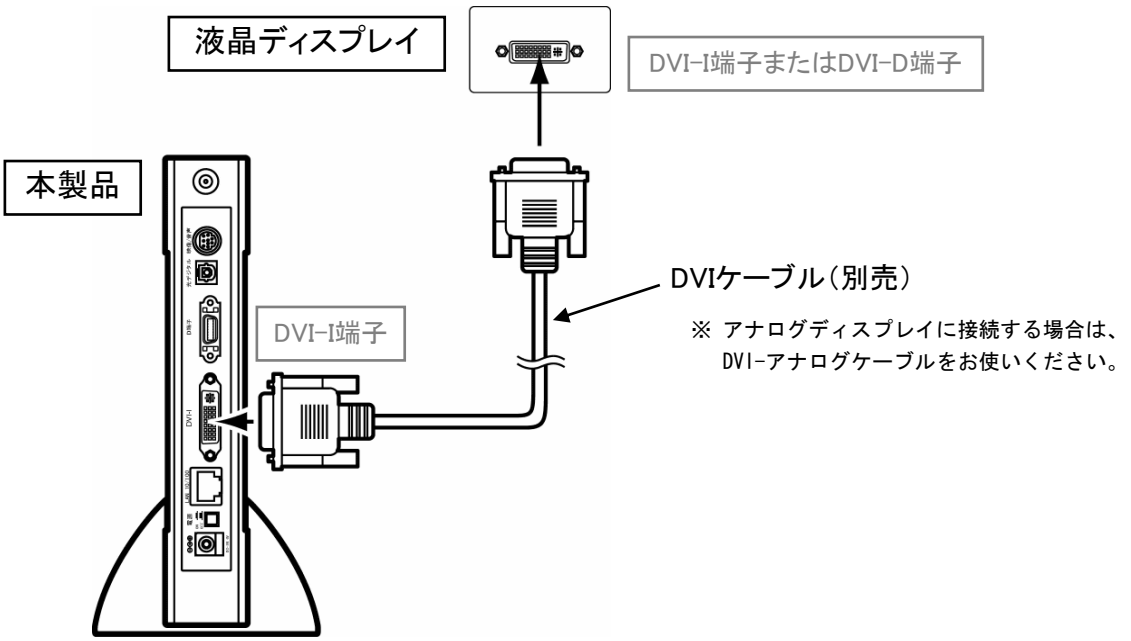
現在使用中のファームウェアよりも新しいものがある場合には更新の準備が始まります。
画面の指示に従ってファームウェアの更新を行ってください。
※ ファームウェア更新中は、絶対に電源を切らないでください。故障の原因になります。

> ファームウェアとは？
> ハードウェアの基本的な制御を行なうために組み込まれたソフトウェアです。本製品では、内蔵されたフラッシュメモリに記憶されています。機能の追加や修正のため、後から変更できるようになっています。

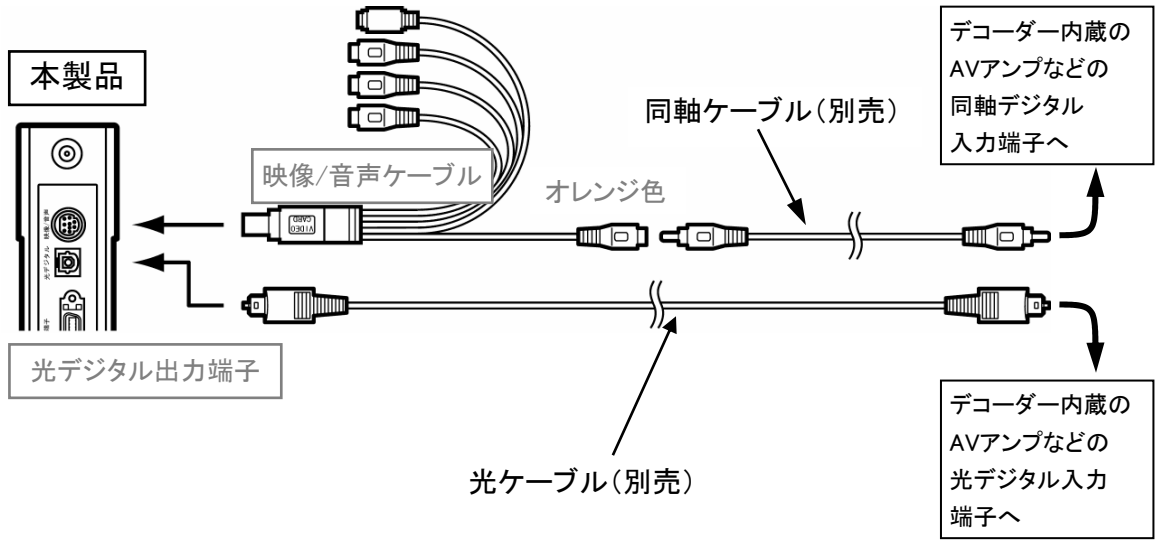
※ 詳細は、【ファームウェアの更新をする】(75ページ)を参照してください。

他の機器をつなぐ

ディスプレイとつなぐ



AVアンプとつなぐ



弊社製LAN接続HDDを使用する場合

リンクプレーヤーから、ネットワーク接続された弊社製LAN接続HDD内のデータを本機で再生することができます。
再生する手順は以下の通りです。

注意！

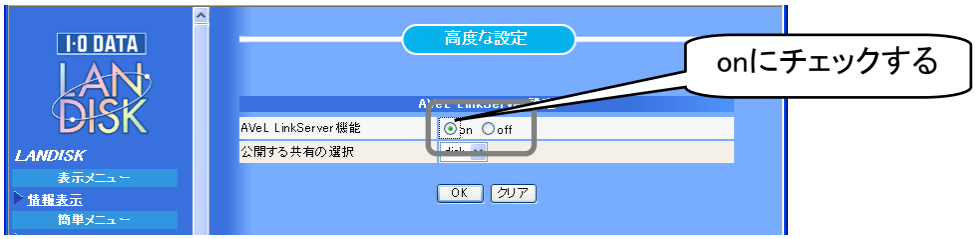
- LAN接続HDDのファームウェアは、できるだけ最新のバージョンをお使いください。
  バージョンによっては、本製品に対応していないことがあります。
  弊社サポートライブラリより最新ファームウェアをご入手の上、ご利用ください。

LAN接続HDDの接続・設定などについては、LAN接続HDDの取扱説明書もご参照ください。
また、リンクプレーヤーと接続した際の設定・操作方法についての詳細については、弊社サポートライブラリに掲載されております、オンラインマニュアルをご参照ください。

LANDISKシリーズをお使いの場合の手順例

1 「LANDISK」をネットワークに接続します。

2 「LANDISK」の設定画面にて、AVeL Link Serverの機能を有効にします。



3 リンクプレーヤーを起動すると、自動で「LANDISK」を認識します。



？ 「landisk」が表示されないときは

手順 **2** のAVeL Link Server機能が有効（on）になっているか、再度ご確認ください。

4 「landisk」を選択して、リモコンの[決定]ボタンを押します。

5 [VIDEO]、[MUSIC]、[PHOTO]を選択して、リモコンの[決定]ボタンを押します。

映像、音楽、写真データが再生されます。



本製品未対応の映像データを見る場合

AVeL Link Advanced Serverをパソコンにインストールすると、リンクプレーヤーが未対応の映像データフォーマットのムービーファイルをMPEG-2にリアルタイム変換しながら、リンクプレーヤーに映像データを送ることができます。変換の待ち時間がなく、見たいと思ったそのときにリンクプレーヤーで再生して大画面のテレビで楽しむことができます。

AVeL Link Advanced ServerはWindows Media Playerで再生可能な映像データフォーマットに対応しています。
なお、リアルタイムトランスコードはソフトウェア変換のため、CPU:Pentium 4 2.4GHz（3GHz以上推奨）、メモリー:256MB以上のパソコン環境が必要です。リアルタイム変換のため、ハードディスクに変換ファイルは作成しません。また再生する元のファイルはそのまま残ります。なお、ご利用環境によっては映像にコマ落ちが生じる場合があります。
リアルタイムトランスコードでの再生中は、早送りや早戻し、一時停止、スロー再生はできません。

● インストールする

1 サポートソフトCD-ROMをパソコンにセットします。

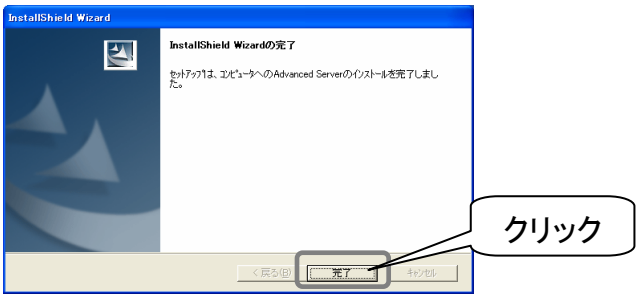
メニューが起動したときは、[EXIT]ボタンをクリックして、メニューを終了します。

2 CD-ROM内の[ALAS]フォルダ→「Setup.exe」を順にダブルクリックします。

以降は画面の指示に従ってすすめてください。



3 「完了」ボタンをクリックします。



4 デスクトップ上のショートカットアイコンをダブルクリックします。

タスクトレイにアイコンが表示します。



● 再生する

1 [Advanced Server on xxx]を選択し、リモコンの[決定]ボタンを押します。

xxxにはAdvanced Serverがインストールされているパソコン名が入ります。



2 ビデオ(VIDEO)、フォト(PHOTO)、ミュージック(MUSIC)を選択し、リモコンの[決定]ボタンを押します。

映像、写真データ、音楽が再生されます。



弊社製mAgicTVを使用する場合

mAgicTVを使用して録画したものを、本製品で再生することができます。
また、EPGを利用して録画予約をテレビ画面から行うことができます。(mAgicTVのバージョンは4.2以降をお使いください。)

再生する場合

1 [mAgicTV Playlist on xxx]を選択し、リモコンの[決定]ボタンを押します。

xxxにはmAgicTVがインストールされているパソコン名が入ります。



2 ビデオ(VIDEO)、フォト(PHOTO)を選択し、リモコンの[決定]ボタンを押します。



3 表示されたデータを選択し、リモコンの[決定]ボタンを押します。

映像、写真データが再生されます。

EPG録画予約する場合

また、EPGを利用して録画予約する方法については、オンラインマニュアルの【EPGで録画予約する】を参照してください。

オンラインマニュアルの参照方法

①サポートソフトCD-ROMをCD-ROMドライブに入れます。⇒メニューが自動的に表示されます。
メニューが自動的に起動しない場合は、CD-ROM内の[AVLS]フォルダの[setup.exe]をダブルクリックしてください。
②[オンラインマニュアル]→[Advanced Server]をクリックします。

ファームウェアの更新をする

本製品のファームウェアの更新方法について説明します。

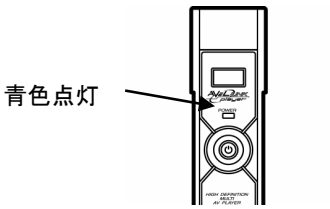
※ 本製品がインターネットに接続できる環境が必要です。

本製品の電源を入れる

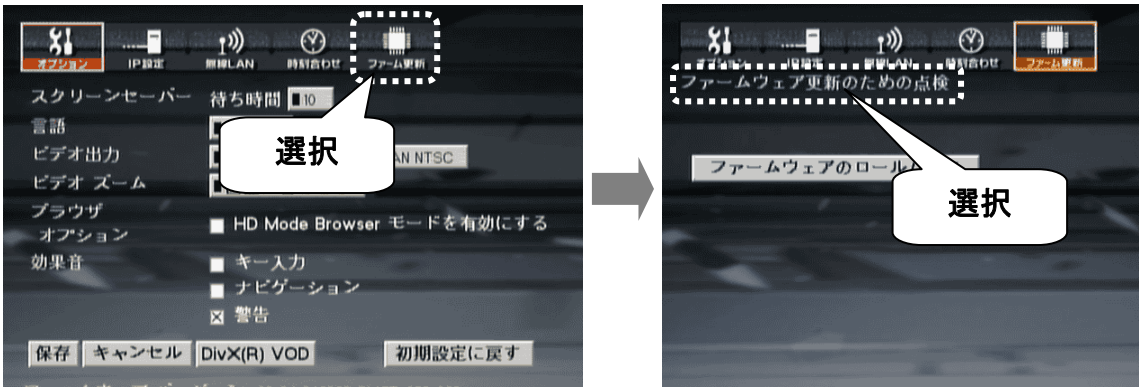
1 リンクプレーヤーの電源を入れます。

→電源ランプが青色に点灯します

※ 電源が入るまでに数秒かかります。



2 リモコンの[セットアップ]ボタンを押し、[ファーム更新]を選択して、リモコンの[決定]ボタンを押します。次に、[ファームウェア更新のための点検]を選択して、リモコンの[決定]ボタンを押します。



3 以降は、画面の指示に従ってすすめます。

現在使用中のファームウェアよりも新しいものがある場合には更新の準備が始まります。

画面の指示に従ってファームウェアの更新を行ってください。

注意！

- ファームウェア更新中は、絶対に電源を切らないでください。故障の原因になります。

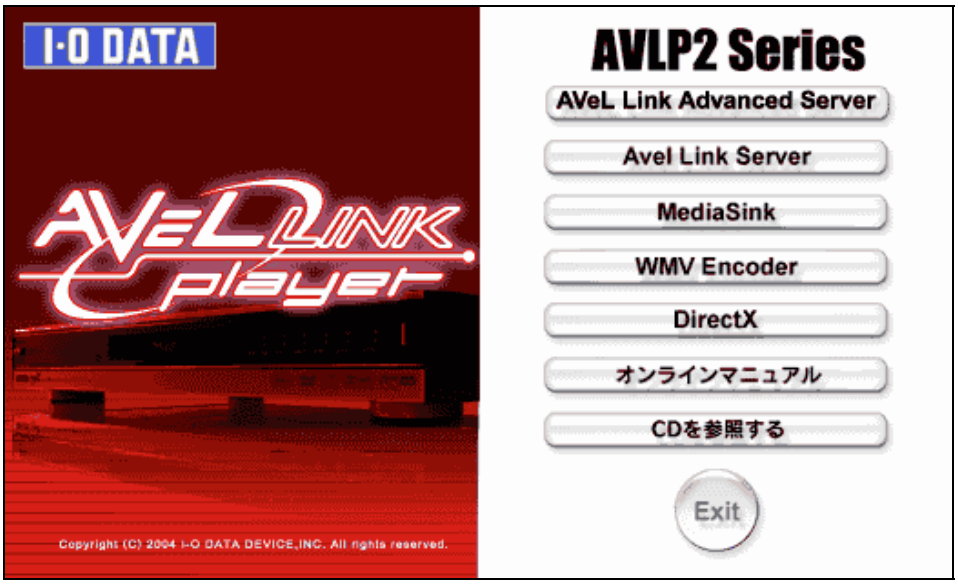
困った時には

「サーバーへの接続エラー」が表示されたときは…

⇒「困ったときには」の【ファームウェアの更新ができない場合について】（51ページ）をご覧ください。

CD-ROMの内容（Windowsのみ）

▼CD-ROMのメインメニュー



AVeL Link Advanced Server	リンクプレーヤーが未対応の映像データフォーマットのムービーファイルをMPEG-2にリアルタイム変換しながら、リンクプレーヤーに映像データを送ることができます。
AVeL Link Server	リンクプレーヤーでパソコンに保存されている映像や音声、静止画を再生、表示することを可能にするサーバーソフトウェアです。
MediaSink	画像、映像、音声ファイルの管理、編集を行うソフトウェアです。インストール方法、使用方法については、オンラインマニュアルを参照してください。
WMV Encoder	MediaSinkで映像ファイルを変換するために必要です。必要に応じてインストールしてください。
DirectX	MediaSinkで画像、映像、音声ファイルの管理をするために必要です。必要に応じてインストールしてください。
オンラインマニュアル	MediaSinkの使用方法およびAdvanced Serverの使用方法を説明しています。
CDを参照する	CDの内容を参照します。

AVeL Link Serverを削除する

パソコンにインストールしたサポートソフトをアンインストール（削除）する方法について説明します。

● Windowsの場合

1 [スタート]→[（すべての）プログラム]→[AVeL Link Server]→
[Uninstall AVeL Link Server]をクリックします。

2 以降、画面の指示に従ってすすめてください。

● Mac OSの場合

● [AVeL Link Server]アイコンをゴミ箱に捨てます。



仕様

高画質機能	プログレッシブ映像出力(480p, 720p) ビデオD/Aコンバータ(Max148.5MHz/12bit)		
高音質機能	デジタル音声出力、 オーディオA/Dコンバータ(192kHz/24bit)		
ネットワーク(有線)	対応規格	IEEE802.3、 IEEE802.3u(10BASE-T/100BASE-TX)	
	通信速度	10M/100Mbps	
	コネクタ	RJ-45	
ネットワーク(無線)	規格	IEEE802.11b、 IEEE802.11g	
	セキュリティ方式	128/64bit WEP	
	通信速度	IEEE802.11b	1/2/5.5/11Mbps
		IEEE802.11g	6/9/12/18/24/36/48/54Mbps
	変調方式	IEEE802.11b	DBPSK, DQPSK, CCK
		IEEE802.11g	OFDM with BPSK, QPSK, 16QAM, 64QAM
	通信方式	DS-SS, OFDM	
	アクセス方式	インフラストラクチャ(Infrastructure)，アドホック(Ad-hoc)	
	周波数帯域	2.4GHz帯(2.4～2.4835GHz)	
	チャンネル	13CH	
	アンテナ方式	可動ダイポールアンテナ	
USBホスト インターフェイス	USB仕様	USB Specification Ver.2.0準拠 (High Speed, Full Speed)	
	コネクタ数、形状	1個、USB A Type	
	USBバスパワー	対応(Max 500mA)	
	対応デバイス	Mass Storage Class (USBハードディスク, USBメモリー, USBカードリーダー/ライター)	
	対応ファイルシステム	FAT16, FAT32	
出力端子	D端子	1(480i, 480p, 720p, 1080i)	
	S端子出力	1(S1、S2対応)	
	コンポジット映像出力	1	
	DVI端子	1(480p, 720p, 1080i, 640x480, 800x600,1024x768,852x480)	
	アナログ音声出力	1	
	光デジタル音声出力	1	
	同軸デジタル音声出力	1	
電源	AC100V　50/60Hz		
消費電力	7.5W (通常時)		
使用温度	5～35℃		
使用湿度範囲	20～80%(但し、結露しないこと)		
保存温度範囲	-20～65℃		
保存湿度範囲	5～95%(但し、結露しないこと)		
外形寸法	35.5(W) x100.3(D) x 203(H)　mm　(本体のみ、ただし突起物を除く)		
質量	約472g(本体のみ)		
適合規格	VCCI Class B		

※ DivXの場合、全体としては最大ビットレート以下でも映像によっては部分的にビットレートが非常に高くなっている場合があります。このような場合、ビットレートが高くなっている部分でコマ落ちしたり、音が途切れたりすることがあります。

また、ビットレートが高くなっている時間が続くとその部分で再生が停止してしまう場合があります。

※ 対応フォーマット (7ページ) もご参照ください。

アフターサービス

お問い合わせ

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターのみで受け付けています。

① まず、弊社ホームページをご確認ください。

本書【困ったときには】で解決できない場合は、サポートWebページ内の「製品Q&A、Newsその他」もご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考になさってください。

http://www.iodata.jp/support/

製品Q&A
Newsその他

添付のサポートソフトをバージョンアップすると解決することがあります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のサポートソフトをダウンロードしてお試しください。

http://www.iodata.jp/lib/

最新
サポートソフト

本製品のファームウェアに関してもなるべく最新をご利用ください。
更新方法は、【ファームウェアの更新をする】(75ページ)を参照してください。

② それでも解決できない場合は…

住所： 〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器 サポートセンター

電話： 本社…**076-260-3646** 東京…**03-3254-1036**
※受付時間 9:30～19:00 月～金曜日（祝祭日を除く）

FAX： 本社…**076-260-3360** 東京…**03-3254-9055**

インターネット： http://www.iodata.jp/support/

・お知らせいただく事項について

サポートセンターへお問い合わせいただく際は、事前に以下の事項をご用意ください。

1. ご使用の弊社製品名
2. ご使用のパソコン本体の型番
3. ご使用のOSとサポートソフトのバージョン
4. トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態（画面の状態やエラーメッセージなどの内容）

修理について

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。

その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について

・保証期間中は、無料修理いたします。

ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。

※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。

・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。

※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。

修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。

（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）

修理しないとご判断いただきました場合は、無料でご返送いたします。

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、シリアル番号、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）

※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。

・以下の内容を書いたもの

返送先［住所/氏名/(あれば)FAX番号］,日中にご連絡できるお電話番号,ご使用環境（機器構成、OSなど）,故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください

・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。

・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。

※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください

・修理は以下の送付先までお送りください。

※ 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地

アイ･オー･データ第2ビル

株式会社アイ･オー･データ機器　修理センター　宛

修理品の返送

・修理品到着後、通常約１週間ほどで弊社より返送できます。

※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

【呼び方】

呼び方	意味
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Professional Operating System、 Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating Systemの総称
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition
Windows 98 SE	Microsoft® Windows® 98 Operating System Second Edition
Windows	Windows XP,Windows 2000,Windows Me,Windows 98 SEの総称

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
3) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
4) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
5) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
6) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
7) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
8) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
9) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
10) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
11) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
12) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft,Windowsは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- Apple,Macintosh,Power Macintosh,PowerBook,Macは、米国Apple Computer,inc.の登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

AVLP2/G　取扱説明書　2004.11.12
発 行　株式会社アイ･オー･データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

© 2004 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品及び本書は著作権法により保護されておりますので無断で複写、
複製、転載、改変することは禁じられています。